

パーソナル オーディオシステム

取扱説明書・保証書

準備する

間く

録音する

カラオケをする

メニュー設定

その他

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「かんたんスタートガイド」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3～6ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

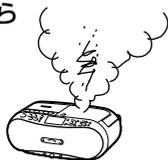
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

機器を本箱や組み立て式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使用しないでください。

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源ボタンを押して電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

電池は、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。

付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

機銘板は本機の底面に表示されています。

ご注意

この装置に対し光学機器を使用すると、目の危険を増やすことになります。

レーザーの仕様

- 放射時間:連続
- レーザー出力:44.6 μ W 未満

この出力値は、7mmの開口部にて光学ピックアップブロックの対物レンズ面より200mmの距離で測定したものです。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない。



禁止

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニー相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナを縮めて使用を中止し、その後は触れないでください。



接触禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。



禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に変換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

引火のおそれがあります。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

移動させるときは、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを縮めてください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も十分に確認してください。



禁止

大音量で長時間つづけて聞かさない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くとときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。



指示

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。



指示

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

本製品では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池

リチウム電池 CR2025(リモコン用)

乾電池

単3形アルカリ電池、単3形マンガン電池(時計用)

危険 ボタン型電池、乾電池が液漏れしたとき

ボタン型電池、乾電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービスステーションにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

ボタン型電池を誤って交換すると爆発する危険があります。必ず同一タイプのもので交換してください。

警告

- 小さい電池は飲みこむおそれがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 乾電池は、機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- ボタン型電池は、おもて・うらに注意して必ず+面を上にして入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。
- 長期間使用しないときは電池を取りはずす。
- 水などでぬらさない。風呂場などの湿気の多いところでは使わない。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

目次

安全のために	2
--------------	---

準備する

準備1:付属品を確かめる	9
準備2:リモコンを準備する	9
準備3:電源を準備する	10
準備4:初期設定(地域設定)をする	11
準備5:時計を合わせる	12

聞く

CDを聞く	14
データCD(MP3/WMA)の フォルダや曲を選んで聞く	18
CDの取り扱いとお手入れについて	19
メモリーカードを聞く	20
フォルダや曲を選んで聞く	22
いろいろな再生方法でCDや メモリーカードを聞く	23
繰り返し聞く(リピート再生)	23
順不同に聞く(シャッフル再生)	24
選んだフォルダ内の曲だけを聞く (フォルダ再生)	24
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)	25
ラジオを聞く	27
受信状態をよくする	28
周波数を選んで聞く(マニュアル選局)	30
放送局を自動で登録する (ラジオ局自動登録)	31
テープを聞く	32
再生/録音ヘッドの清掃のしかた	34
消去ヘッドの清掃のしかた	35
おやすみタイマーを使う	36
タイマーを使って目覚める (アラーム)	37

録音する

メモリーカードに録音する	40
メモリーカードへの録音について	40
CDからメモリーカードに録音する (シンクロ録音)	41
ラジオをメモリーカードに録音する	43
テープからメモリーカードに録音する	44
ラジオの予約録音をする	45
予約時刻の制限について	48
テープに録音する	49
CDからテープに録音する	50
メモリーカードからテープに録音する	51
ラジオをテープに録音する	52
録音した曲や音声を削除する	53
メモリーカードのデータを削除する	53
テープの曲や音声を消去する	53
メモリーカードのフォルダ(グループ) 構成と録音データについて	54

カラオケをする

カラオケをする	57
カラオケやマイクの音声を録音する	58
メモリーカードに録音する	58
テープに録音する	59
マイクで話す(拡声する)	60

メニュー設定

メニューボタンから設定する	61
共通設定	62
メモリーカード使用時の設定	64
ラジオ受信時の設定	66

その他

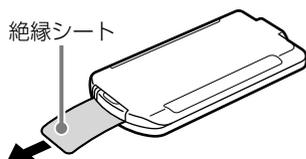
困ったときは.....	68
サポートページのご案内.....	72
使用上のご注意.....	73
主な仕様.....	75
再生できるディスクについて.....	77
メモリーカードの使用について.....	77
再生できるファイルについて.....	80
各部のなまえ.....	81
保証書とアフターサービス.....	84
索引.....	85

準備1:付属品を確かめる

箱から出したら、付属品(75ページ)がそろっているか確認してください。

準備2:リモコンを準備する

リモコンには、出荷時にリチウムボタン電池(CR2025)1個が内蔵されています。お使いになる前に、下図のようにして絶縁シートをリモコンから引き抜いてください。

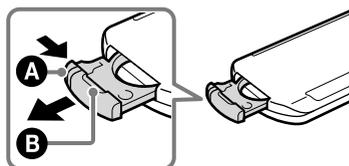


リモコンの電池を交換するには

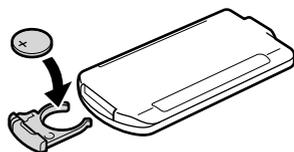
リモコンに入っているリチウムボタン電池は、通常の使用では約6か月持続します。リモコンが正常に動作しなくなったり、リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、新しい電池に交換してください。

電池を交換するときは、以下の手順に従ってください。

1 タブ(A)を内側に押し込みながら、溝(B)に爪をかけて電池ケースを引き出す。

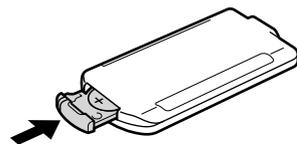


2 古い電池を取り出し、+面を上にして新しい電池を入れる。



必ず同じ種類のリチウムボタン電池(CR2025)を使用してください。

3 電池ケースをリモコンにはめ込む。



ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
 - 子供の手の届かないところに置いてください。
 - 万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
 - 電池のおもて・うらに注意して、必ず+面を上にして入れてください。
 - 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
- リモコンでの操作が正常に動作するように、本機の設置場所を移動するなど、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。

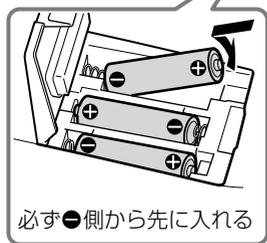
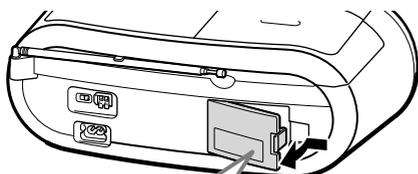
準備3:電源を準備する

時刻保持用電池(時計用電池)を入れる

停電時や電源コードが接続されていないときに時計や内蔵タイマーの設定内容を保つためには、時計用電池を入れておく必要があります。

本機は時計用電池のみでは動作しません。必ず電源コードを接続してお使いください。時計も、電源コードを接続しているときのみ表示されます。

電池ぶたを開き、別売りの単3形乾電池3本を⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



電池ぶたのツメを押しながら手前に開ける

必ず⊖側から先に入れる

時計用電池の残量を確認するには「時計用電池残量」(63ページ)をご覧ください。

💡 ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。使いきった電池は取りはずし、3本とも新しい電池に交換してください。

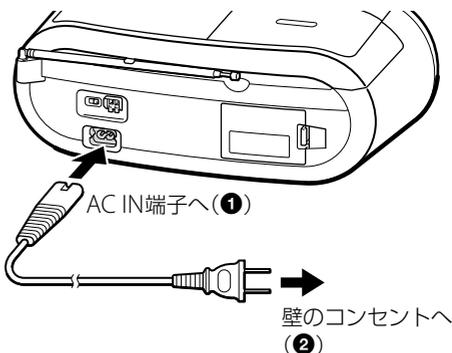
ご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と使用した電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 長い間本機を使わないときは、電池を取り出してください。
- 本機では市販のニッケル水素電池などの充電電池は使用できません。
- 乾電池を出し入れするときは、本体やCD、メモリーカードなどが傷つくのを防ぐために次のことを必ず守ってください。
 - CDを取り出す。
 - メモリーカードを抜く。
 - FM用ロッドアンテナを元の位置に戻す。
 - AMループアンテナを取りはずす。
 - テープを取り出す。
- 乾電池を交換すると、時計はお買い上げ時の設定に戻ります。時計を合わせ直してください。
- 買い置きしたまま長時間放置した乾電池を入れた場合、消耗して使えない可能性があります。販売店で新しい乾電池を購入して交換してみてください。

電源コードを接続する

本体のAC IN端子へ差し込んだあと(①)、壁のコンセントへ差し込んでください(②)。



電源コードのプラグの先端がAC IN端子の奥に当たるまでしっかりプラグを差し込んでください。

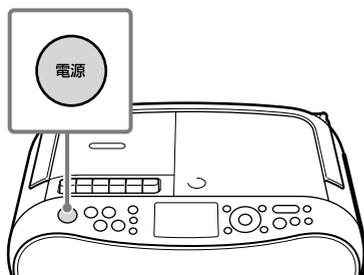
準備4:初期設定(地域設定)をする

お買い上げ後に初めて電源を入れると、ラジオの地域設定モードになります。画面の表示に従って地域を設定すると、地域に応じた放送局が登録されます。

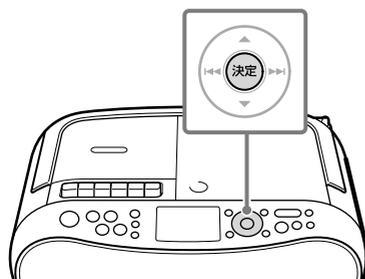
💡 ちょっと一言

地域設定を行うと、時刻の自動補正機能(63ページ)がオンになります。

1 電源ボタンを押す。

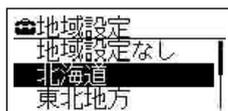
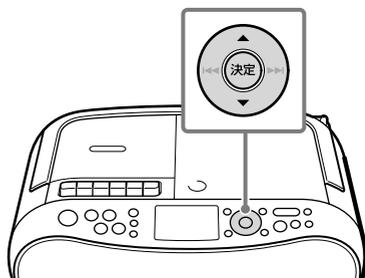


2 決定ボタンを押して次に進む。



お住まいの地域の
ラジオ局を
登録します。
次へ

3 ▲▼ボタンでお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す。

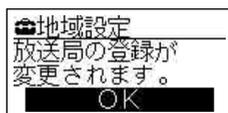


「地域設定なし」を選ぶと、放送局は登録されず、自動時刻補正(63ページ)も働きません。

4 ▲▼ボタンでお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す。



5 決定ボタンを押して登録を完了する。



設定が保存されます。
「準備5:時計を合わせる」(12ページ)へ
進んでください。

設定できる地域について

地域設定では次の54地域から選べます。

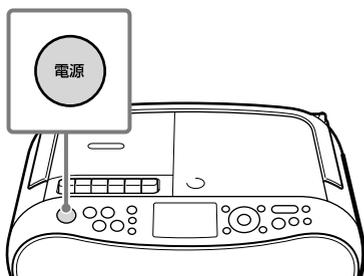
地方	地域			
北海道	札幌	函館	旭川	帯広
	釧路	北見	室蘭	
東北地方	青森	岩手	宮城	秋田
	山形	福島		
関東地方	茨城	栃木	群馬	埼玉
	千葉	東京	神奈川	
中部地方	新潟	富山	石川	福井
	山梨	長野	岐阜	静岡
	愛知	三重		
近畿地方	滋賀	京都	大阪	兵庫
	奈良	和歌山		
中国地方	鳥取	島根	岡山	広島
	山口			
四国地方	徳島	香川	愛媛	高知
九州・沖縄地方	福岡	北九州	佐賀	長崎
	熊本	大分	宮崎	鹿児島
	沖縄			

地域設定をやり直すには

「地域設定」(67ページ)をご覧ください。電源コードを抜いても、設定した地域は保持されます。

電源について

本機は電源ボタンだけでなく、CDボタン、メモリーカードボタン、ラジオFM/AMボタン、テープ(マイク)ボタンでも電源を入れることができます。これらのボタンで電源を入れた場合は、電源が入ると同時に選んだファンクション(機能)に切り換わります。電源を切るには、電源ボタンを押してください。

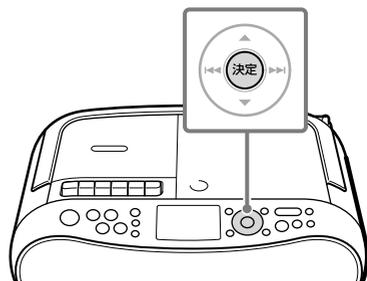
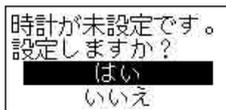


準備5:時計を合わせる

お買い上げのあと初めて、または時計用電池を交換したあとに電源コードを接続すると、「0:00AM」または「0:00」が点滅します。

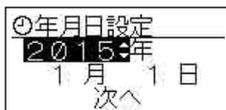
- 時計を合わせる前に、本機に時計用電池を入れてください(10ページ)。
- 時刻の自動時刻補正機能(63ページ)を有効にするには、現在時刻との差が3分以内になるように時計を合わせてください。

1 「はい」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

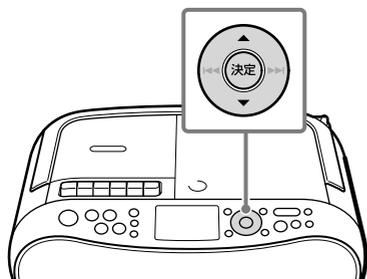


2 もう一度決定ボタンを押して、「年」の設定を開始する。

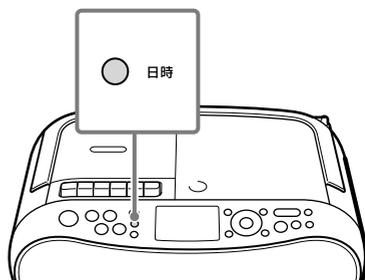
「年」の数字が選ばれた状態で決定ボタンを押すと、数字の横に「↓」が表示されます。



3 ▲▼ボタンで設定したい「年」を選び、決定ボタンを押す。

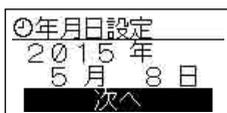


現在日時を表示するには
電源が入った状態で日時ボタンを押すと、現在日時が表示されます。



4 手順2～3と同じように操作して「月」と「日」を合わせる。

5 「次へ」が選ばれたら決定ボタンを押して次に進む。



6 もう一度決定ボタンを押して、「時」の設定を開始する。

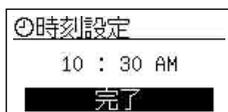
「時」の数字が選ばれた状態で決定ボタンを押すと、数字の横に「▲」が表示されます。



7 ▲▼ボタンで「時」を合わせ、決定ボタンを押す。

8 手順6～7と同じように操作して「分」を合わせる。

9 「完了」が選ばれたら決定ボタンを押して設定を完了する。



時計を合わせ直すには
「時計設定」(62ページ)をご覧ください。

時刻の表示形式を変えるには
時刻表示形式を「12時間」または「24時間」から選べます。詳しくは「時刻表示設定」(62ページ)をご覧ください。

ご注意

- アラーム(37ページ)や予約録音機能(45ページ)を使うには、本機の時計を合わせておく必要があります。また、設定した日時は録音時のフォルダ・ファイル名などにも使用されるため、時計は正確に設定することをおすすめします。
- 次の場合、電源がオフの状態では、表示窓に「0:00AM」または「0:00」が点滅します。
 - お買い上げ後に時計を合わせていない場合
 - 時計用電池を本体に入れていない状態(または電池が消耗した状態で電源コードを抜いたり停電して、時計設定がリセットされた場合)
- 次の場合、時計設定の画面は自動的に終了します。
 - 設定操作中に約3分間何も操作しない場合
 - CDふたを開けた場合
 - 予約録音を開始した場合

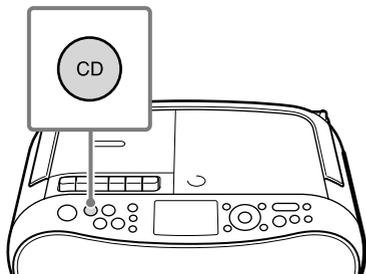
CDを聞く

あらかじめ、次の準備をしてください。

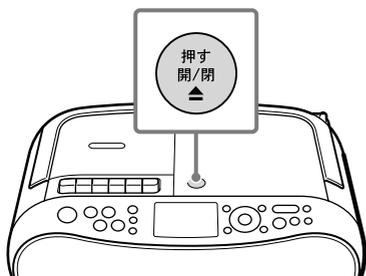
- 本体に電源コードを接続する(10ページ)。
- 再生可能なディスクのタイプとファイルフォーマットについて確認する。
詳しくは「再生できるディスクについて」(77ページ)、「再生できるファイルについて」(80ページ)をご覧ください。

1 CDボタンを押す。

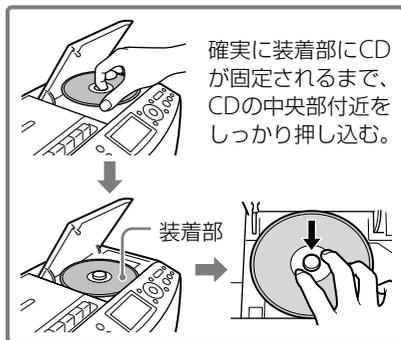
電源が入ります。



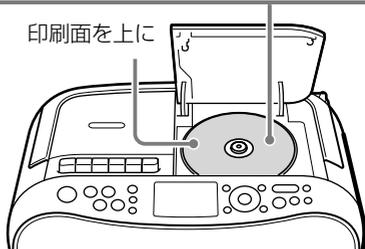
2 開/閉▲部を押してCDぶたを開ける。



3 CDを入れて、CDぶたを閉める。

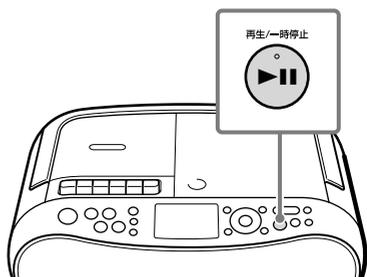


印刷面を上



4 ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

再生が始まります。

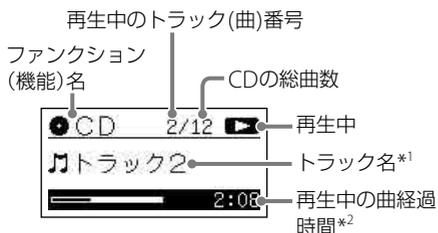


データCD(MP3/WMA)の再生については、「データCD(MP3/WMA)の再生の順番について」(17ページ)や「データCD(MP3/WMA)のフォルダや曲を選んで聞く」(18ページ)もあわせてご覧ください。

再生画面について

再生中は、現在再生している曲の情報が表示窓に表示されます。

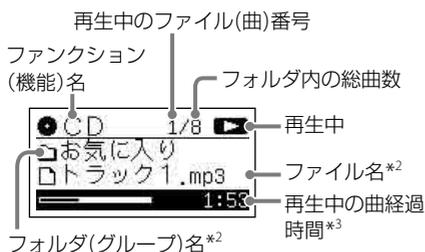
音楽CDの場合



*1 再生の停止中は、総トラック数(総曲数)が表示されます。

*2 再生の停止中は、全トラックを合算した総再生時間が表示されます。

データCD(MP3/WMA)の場合*1



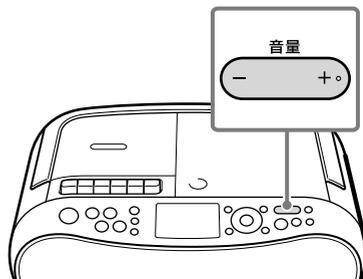
*1 メモリーカードの再生の場合もファンクション名以外は同じ再生画面になります。

*2 再生中の曲に曲情報が登録されているときは、曲名やアルバム名を確認することができます。詳しくは、「曲情報を表示するには(データCDのみ)」(16ページ)をご覧ください。

*3 データCDの場合は、総再生時間は表示されません。

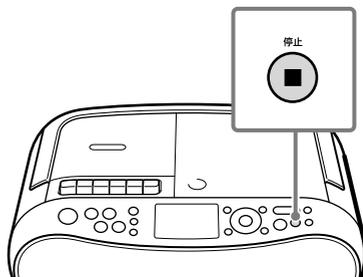
音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す。



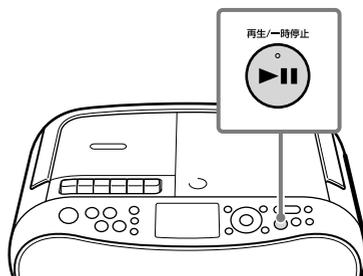
再生をやめるには

■(停止)ボタンを押す。



再生中に一時停止するには

▶|| (再生/一時停止)ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。

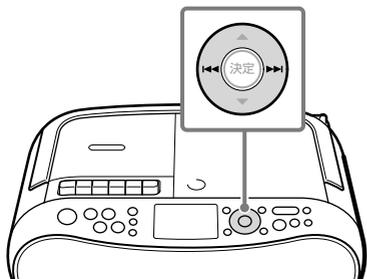


💡 ちょっと一言

■(停止)ボタンで再生を停止し、次に▶|| (再生/一時停止)ボタンを押すと、前回再生を停止した曲の頭から再生されます。停止したあと、もう一度■(停止)ボタンを押すと、次回は1曲目の始めから再生されます。

曲の頭に戻す／次の曲へ進むには

◀◀または▶▶ボタンを押す。

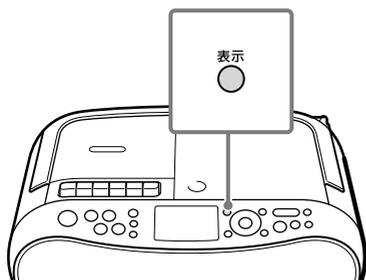


再生中に早送り／早戻しするには

- 早送り
再生中に▶▶ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。
- 早戻し
再生中に◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

曲情報を表示するには(データCDのみ)

再生中または一時停止中に、表示ボタンを2回押す。



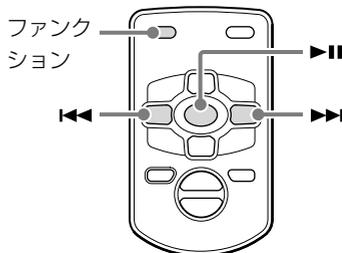
再生中のファイルに曲情報(曲名/アルバム名/アーティスト名)が登録されている場合は、曲情報を確認することができます。ファイルに曲情報が登録されていない場合は、曲名の代わりにファイル名が表示され、アルバム名とアーティスト名の代わりに「不明」と表示されます。

いろいろな再生方法について

「いろいろな再生方法でCDやメモリーカードを聞く」(23ページ)をご覧ください。

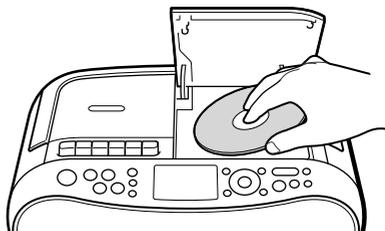
リモコンで再生するには

ファンクションボタンを繰り返し押して「CD」を選び、▶▶ボタンを押す。◀◀▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。



CDを取り出すには

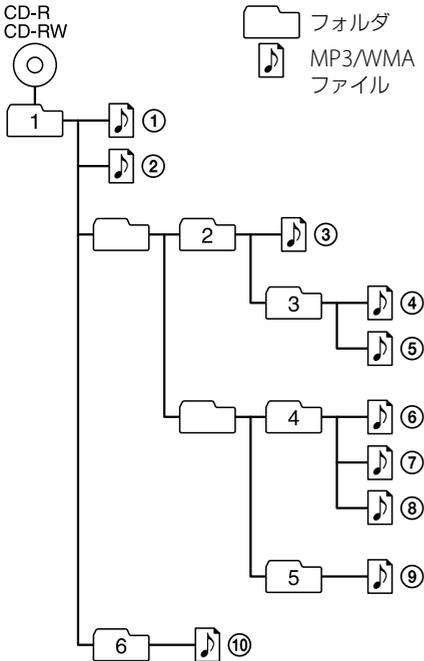
開/閉▲部を押してCDぶたを開け、CDを取り出す。再生中の場合は、■(停止)ボタンを押し、再生を止めてから取り出してください。片手で取り出すときは、下図のようにCDのふちに添える親指が右手前のスペースにくるようにし、親指が引っかからないように注意してCDを取り出してください。



データCD(MP3/WMA)の再生の順番について

MP3またはWMAフォーマットのファイル(曲)を記録したデータCDでは、フォルダ*構成や書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。次の図のデータCDの例では、①から⑩の順にファイルが再生されます。

* ファイルをグループ分けして格納する場所のことを「フォルダ」と呼びます。



(使用できる最大ディレクトリ階層:8階層)

ご注意

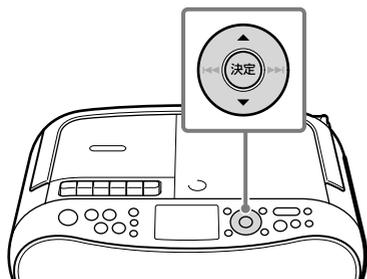
- 本機が認識できるディスク上の最大フォルダ数は255、最大ファイル数は999です。この数を超える場合、本機では再生できません。
- ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によっては、再生が始まるまでに時間がかかったり、再生されない場合があります。
- データCD(MP3/WMA)には、MP3/WMA以外のフォーマットのファイルや不要なフォルダを書き込まないでください。
- 本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは次のとおりです。
 - MP3: 拡張子「.mp3」
 - WMA: 拡張子「.wma」
 上記に該当する拡張子をファイル名が持っていますが、フォーマットが異なっている場合は、本機では再生できない、または再生するときに不具合が生じる場合があります。

データCD(MP3/WMA)のフォルダや曲を選んで聞く

聞きたいファイル(曲)や、ファイルが入っているフォルダ(グループ)を選んで、再生を始めることができます。

1 CDボタンを押し、CDを入れる(14ページ)。

2 ▲▼ボタンを押して「フォルダ選択」を選び、決定ボタンを押す。



💡 ちょっと一言

データCD内のフォルダ階層にかかわらず、再生できるファイル(曲)を含むフォルダがすべて表示されます。

3 ▲▼ボタンを押してフォルダを選ぶ。

4 再生を始める。

選んだフォルダの1曲目から再生を始める場合

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

フォルダ内の曲を選んで再生を始める場合

▲▼ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。

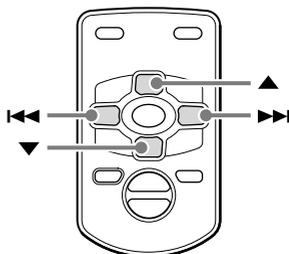
再生が始まります。

リモコンでフォルダや曲を選ぶには

再生画面(15ページ)が表示されているときに▲▼ボタンまたは◀▶▶▶▶▶ボタンを押す。

▲▼ボタンでフォルダの移動、◀▶▶▶▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。

再生される曲の順番については、「データCD(MP3/WMA)の再生の順番について」(17ページ)をご覧ください。



CDの取り扱いとお手入れについて

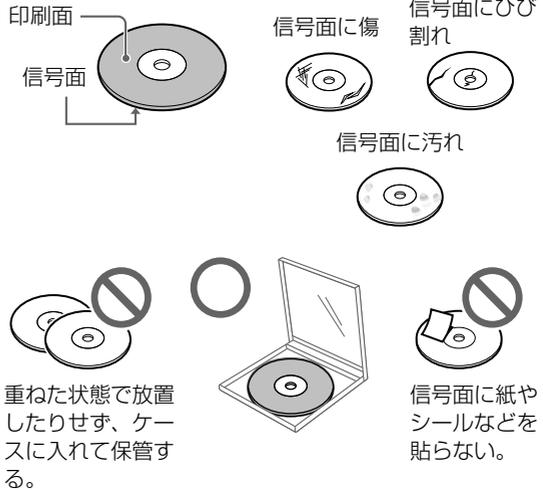
CDをより良い音質でお楽しみいただくには、取り扱いに注意し、いつでも正常に再生できるように、日頃からCDをきれいな状態に保つことが肝心です。

CDの信号面に生じた傷やひび割れ、指紋やほこりによる汚れは、音質低下の原因となるとともに、「今まで再生できていたのに再生できなくなった」などの再生不良の原因になります。

CDの取り扱いかた

信号面に傷やひび割れが生じると、状態によってはCDの再生ができなくなります。指紋やほこりなどの汚れは、CD再生時のエラーや音質低下の原因となります。

CDを取り扱う際は、傷や汚れをつけないように、信号面(文字が書かれていない面)には触れないように持ってください。また、長時間再生しないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねた状態で置いたり、ななめに立てかけて放置するなどすると、傷がついたりその原因となります。

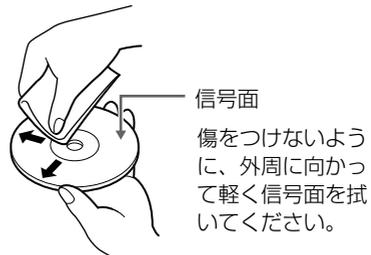


重ねた状態で放置したりせず、ケースに入れて保管する。

信号面に紙やシールなどを貼らない。

CDのお手入れのしかた

CDが汚れているときは、傷がつかないやわらかい布や市販のクリーニングクロスで信号面を軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で少し湿らせて拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



ご注意

ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので使わないでください。

メモリーカードを 聞く

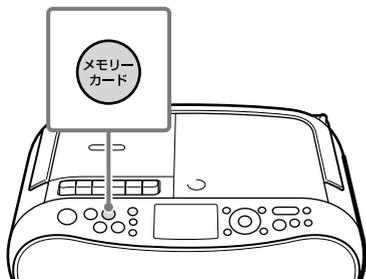
本機ではSDカードとメモリースティック™をお使いいただけます。

あらかじめ、次の準備をしてください。

- 本体に電源コードを接続する(10ページ)。
- 再生可能なメモリーカードのタイプとファイルフォーマットについて確認する。詳しくは「メモリーカードの使用について」(77ページ)、「再生できるファイルについて」(80ページ)をご覧ください。

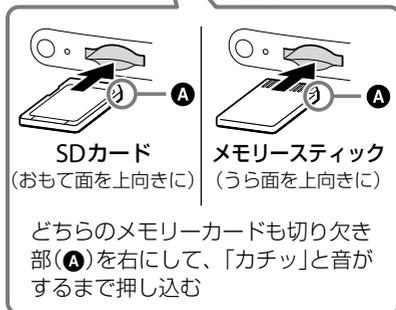
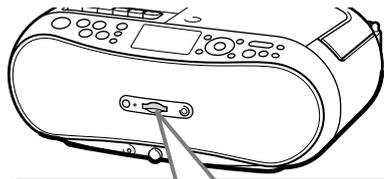
1 メモリーカードボタンを押す。

電源が入ります。



2 録音済みのメモリーカードを入れる。

「読み込み中」と表示され、アクセスランプが青く点滅します。アクセスランプが点滅している間は、メモリーカードを抜かないでください。



ご注意

microSDまたはmicroSDHC、およびメモリースティックマイクロは、それぞれ専用のアダプターに入れてから使用してください。詳しくは、「メモリーカードの使用について」(77ページ)をご覧ください。

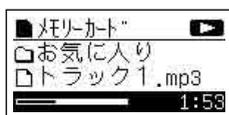
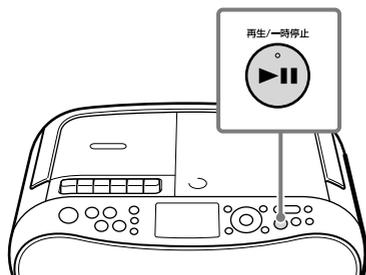
メモリーカードに記録されているファイル(曲)やフォルダ(グループ)の数によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。

メモリーカードを取り出すときは、もう一度押し込んで手前を出してから抜き取ります。



3 ▶▶(再生/一時停止)ボタンを押す。

再生が始まります。
再生中はアクセスランプが青く点灯します。



再生中の画面については詳しくは、「再生画面について」(15ページ)の「データCD(MP3/WMA)の場合」をご覧ください。

音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す(15ページ)。

再生をやめるには

■(停止)ボタンを押す(15ページ)。

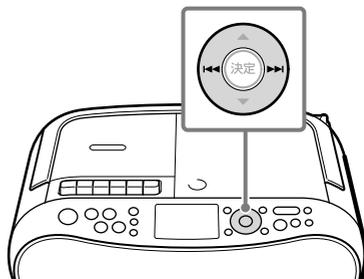
再生中に一時停止するには

▶▶(再生/一時停止)ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。

💡 ちょっと一言

■(停止)ボタンで再生を停止し、次に▶▶(再生/一時停止)ボタンを押すと、前回再生を停止したところから再生されます。停止したあと、もう一度■(停止)ボタンを押すと、次回は1曲目の始めから再生されます。

曲の頭に戻す/次の曲へ進むには
◀◀または▶▶ボタンを押す。



再生中に早送り/早戻しするには

- 早送り
再生中に▶▶ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。
- 早戻し
再生中に◀◀ボタンを押したままにして、聞きたいところで指を離す。

曲情報を表示するには

再生中または一時停止中に、表示ボタンを押す(16ページ)。

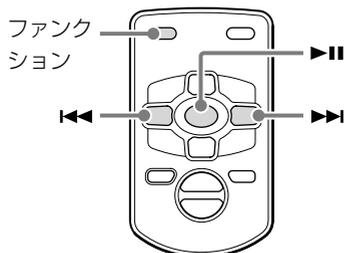
再生中のファイルに曲情報(曲名/アルバム名/アーティスト名)が登録されている場合は、曲情報を確認することができます。ファイルに曲情報が登録されていない場合は、曲名の代わりにファイル名が表示され、アルバム名とアーティスト名の代わりに「不明」と表示されます。

いろいろな再生方法について

「いろいろな再生方法でCDやメモリーカードを聞く」(23ページ)をご覧ください。

リモコンで再生するには

ファンクションボタンを繰り返し押し続けて「メモリーカード」を選び、▶||ボタンを押す。再生画面(15ページ)が表示されているときは、◀◀▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。



ご注意

- 表示窓に「読み込み中」が表示されている間は、メモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合は、メモリーカードを取り出し、もう一度入れ直してください。

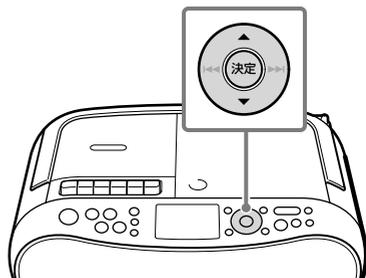
メモリーカードの再生の順番について

メモリーカードに録音された曲の再生の順番は、データCD(MP3/WMA)と同じように、フォルダ構成や書き込みの方法によって異なる場合があります。詳しくは「データCD(MP3/WMA)の再生の順番について」(17ページ)をご覧ください。

フォルダや曲を選んで聞く

聞きたいファイル(曲)や、ファイルが入っているフォルダ(グループ)を選んで、再生を始めることができます。

- 1 メモリーカードボタンを押し、メモリーカードを入れる(20ページ)。
- 2 ▲▼ボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す。



音源を録音したときのファンクション名を選びます。

すでにメモリーカードを再生していた場合は、上図の画面が表示されるまで戻るボタンを繰り返し押し続けてから、ファンクション名を選びます。

「テープ」を選んだ場合は手順4の操作へ進んでください。

💡 ちょっと一言

「すべて」を選ぶと、メモリーカード上の再生できるファイル(曲)を含むフォルダがすべて表示されます。メモリーカードのフォルダ構成について詳しくは「メモリーカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(54ページ)をご覧ください。

- 3 ▲▼ボタンを押してフォルダを選ぶ。

4 再生を始める。

選んだフォルダの1曲目から再生を始める場合

▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

フォルダ内の曲を選んで再生を始める場合

▲▼ ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押す。

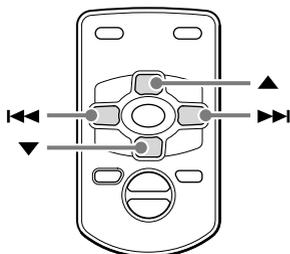
再生が始まります。

リモコンでフォルダや曲を選ぶには

再生画面(15ページ)が表示されているときに▲▼ボタンまたは◀▶▶▶ボタンを押す。

▲▼ボタンでフォルダの移動、◀▶▶▶ボタンで曲戻し/曲送りができます。

再生される曲の順番については、「データCD (MP3/WMA) の再生の順番について」(17ページ)をご覧ください。

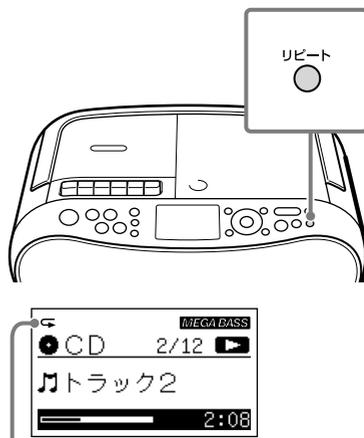


いろいろな再生方法 でCDやメモリーカードを聞く

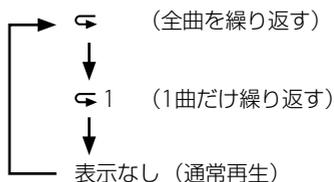
繰り返し聞く (リピート再生)

CDやメモリーカードの1曲または全曲を繰り返して聞くことができます。

CDまたはメモリーカードの再生中または停止中に、リピートボタンを繰り返し押す。



ボタンを押すたびに、次の表示になります。



聞く

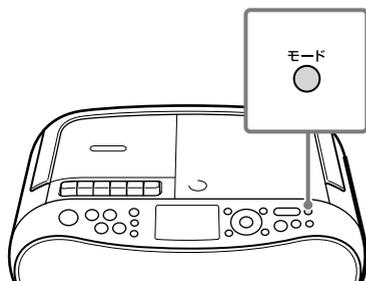
選んだフォルダを繰り返し聞くには
(データCD、メモリーカードのみ)
フォルダ再生(24ページ)の操作をしたあと、「」が表示されるまでリピートボタンを繰り返し押す。

リピート再生をやめるには
「」または「 1」の表示が消えるまで、リピートボタンを繰り返し押す。

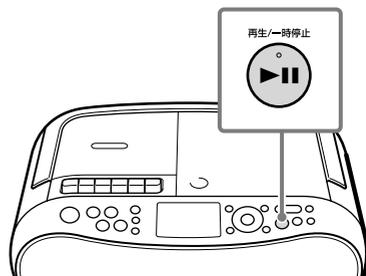
順不同に聞く (シャッフル再生)

CDやメモリーカードに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

1 CDまたはメモリーカードの停止中に、「SHUF」が表示されるまでモードボタンを繰り返し押す。



2  (再生/一時停止)ボタンを押す。
シャッフル再生が始まります。



ご注意

- 再生中または一時停止中にシャッフル再生の設定はできません。
- シャッフル再生中に ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。ひとつ前に再生された曲に戻ることはできません。

シャッフル再生をやめるには

■(停止)ボタンを押してシャッフル再生を停止し、「SHUF」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

シャッフル再生を繰り返して聞くには
シャッフル再生を設定してから、「」が表示されるまでリピートボタンを繰り返し押す(23ページ)。

選んだフォルダ内の曲だけを聞く (フォルダ再生)

データCD(MP3/WMA)とメモリーカードでは、選択中のフォルダ内の曲のみを再生することができます。

フォルダ内の全曲を最初から順に再生するには

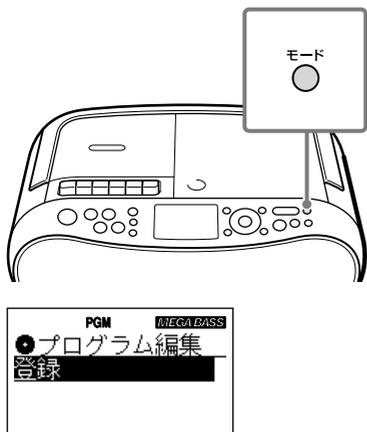
停止中に「」が表示されるまで、モードボタンを繰り返し押す。

フォルダ内の全曲を順不同に聞くには
停止中に「SHUF」が表示されるまで、モード
ボタンを繰り返し押す。

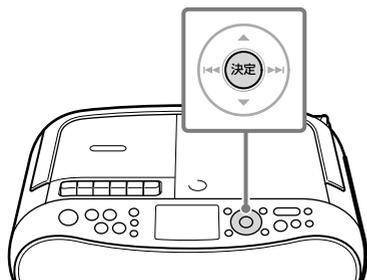
聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)

聞きたい曲を聞きたい順に25曲までプログラム
登録することができます。

- 1 CDまたはメモリーカードの停止中
に、「PGM」が表示されるまでモード
ボタンを繰り返し押す。

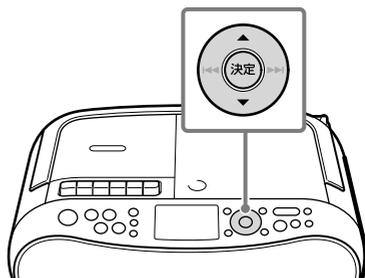


- 2 「登録」が選択されていることを確
認し、決定ボタンを押す。



- 3 ▲▼ボタンを押して曲を選び、決定
ボタンを押す。

データCD(MP3/WMA)とメモリーカー
ドでは、▲▼ボタンを押してフォルダを選
んでから曲を選んでください。



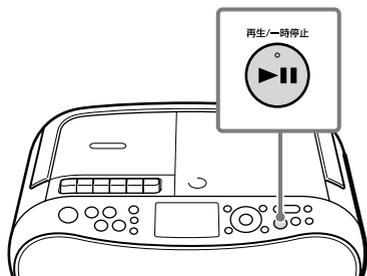
- 4 引き続き曲を登録する場合は、
「次の曲の登録」が選択されている
ことを確認して決定ボタンを押し、
手順3の操作を繰り返す。

データCDとメモリーカードで別のフォル
ダ内の曲を登録したい場合は、戻るボタ
ンを繰り返し押してフォルダ一覧画面に
戻ってから、手順3の操作を繰り返して
ください。

- 5 プログラム登録が終わった場合は、
▲▼ボタンを押して「完了」を選び、
決定ボタンを押す。

6 ▶|| (再生/一時停止) ボタンを押す。

プログラムした順に再生が始まります。



プログラム再生が終わっても、登録したプログラムは保持されます。▶|| (再生/一時停止) ボタンを押すと、同じプログラムをもう一度聞くことができます。

ご注意

- 再生中または一時停止中にプログラム再生の設定はできません。
- CDふたを開けたり、メモリーカードを取り出すと、登録したプログラムの内容は消去されます。

曲順を確認するには

再生中に■ (停止) ボタンを2回押す。「プログラム登録」の表示に戻ります。

プログラム再生をやめるには

■ (停止) ボタンを押してプログラム再生を停止し、「PGM」の表示が消えるまで、モードボタンを繰り返し押す。

プログラムを追加で登録するには

- 1 停止中に■ (停止) ボタンを押して「プログラム登録」の表示にする。
- 2 ▲▼ ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ ボタンを押して「登録」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「聞きたい曲を好きな順に聞く (プログラム再生)」の手順3 ~ 5の操作を繰り返す。

プログラムを削除するには

「1曲削除」の場合

- 1 停止中に■ (停止) ボタンを押して「プログラム登録」の表示にする。
- 2 ▲▼ ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ ボタンを押して「1曲削除」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲▼ を押して削除したい曲を選び、決定ボタンを押す。
- 5 ▲▼ ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

「全曲削除」の場合

- 1 停止中に■ (停止) ボタンを押して「プログラム登録」の表示にする。
- 2 ▲▼ ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ ボタンを押して「全曲削除」を選び、決定ボタンを押す。

ラジオを聞く

あらかじめ地域設定(11ページ)で登録した放送局を簡単に選ぶことができます。

あらかじめ、本体に電源コードが接続されていることを確認してください(10ページ)。

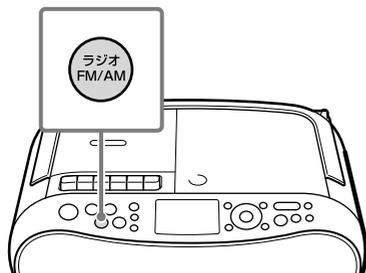
1 FMアンテナを立てて伸ばす(FM放送を受信する場合のみ)。

FM放送を受信するときは、あらかじめFMアンテナを立てて伸ばしてください。AM放送を受信する場合にはFMアンテナを立てる必要はありません。AM受信用のアンテナは本体に内蔵されています。



2 ラジオFM/AMボタンを押す。

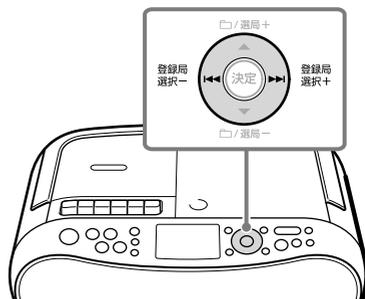
電源が入ります。



3 ラジオFM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。

ボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。

4 登録局選択+または-ボタンを繰り返し押し続けて聞きたい登録局番号を選ぶ。



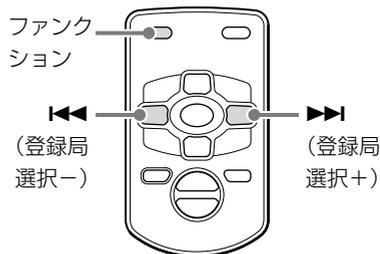
周波数で選局して聞くこともできます。詳しくは「周波数を選んで聞く(マニュアル選局)」(30ページ)をご覧ください。

音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す(15ページ)。

リモコンで選局するには

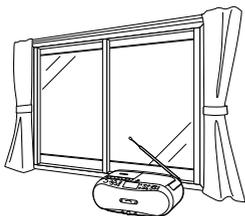
ファンクションボタンを繰り返し押し続けてFMまたはAMを選び、◀◀(登録局選択-)または▶▶(登録局選択+)ボタンで登録局番号を選ぶ。



聞く

受信状態をよくする

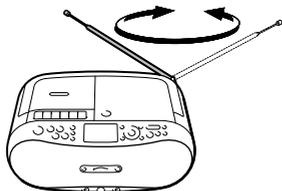
窓際など、電波を受信しやすい場所でお使いください。また、受信したい放送に合わせてアンテナを調整してください。



FM放送のとき

• アンテナの水平方向の調整

FMアンテナの水平方向を調整する。本体にぶつからない程度にFMアンテナを傾けた状態で回転させてください。アンテナを立てたまま回転しようとする、アンテナを破損する恐れがあります。

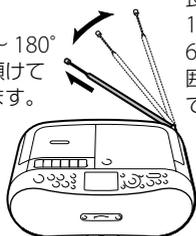


• アンテナの長さ、角度の調整

FMアンテナを伸ばし、長さや垂直方向の角度を調整する。

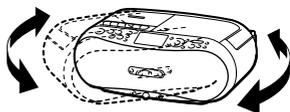
角度は0°～180°の範囲で傾けて調整できます。

長さは180mm～670mmの範囲で長さ調整できます。



AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。(AMのアンテナは本体に内蔵されています。)

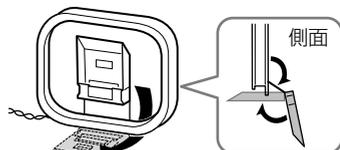


それでも受信状態がよくない場合は、付属のAMループアンテナを取り付けてください。

AMループアンテナを使うには

1 AMループアンテナを次のように組み立てる。

① 台座を図のように倒して折り曲げる。



2か所で折り曲げる

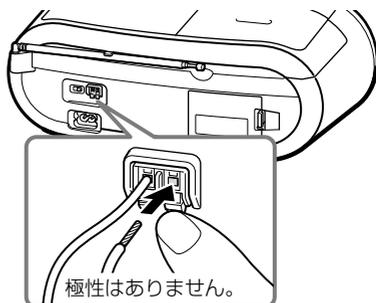
② フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。



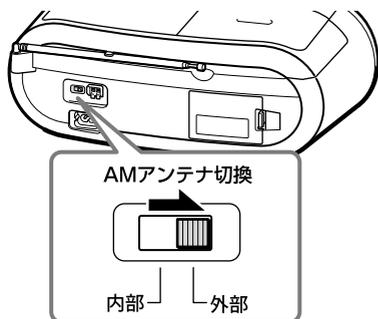
「カチッ」とはまるまで、強い力で押し込む

2 コード先端部の被覆を取り、接続しやすいよう芯線をよじる。

3 AMループアンテナ接続端子のレバーを押しながら、アンテナコードを接続する。

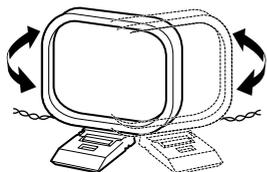


- 4 内部／外部AMアンテナ切換スイッチを「外部」に切り換える。



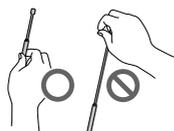
AMループアンテナの設置について

場所を変えながら、最も受信状態が良くなる設置場所と方向を探してください。設置の際は、雑音の原因となるため、本機や家電製品などから離すようにしてください。



ご注意

- FMアンテナの長さを調整する場合は、FMアンテナの一番太い部分と先端を手で持って伸縮させてください。
- FMアンテナ角度、向きを調整する場合は、必ずFMアンテナの一番太い部分を持って調整してください。先端部を持ちたり過剰な力を加えてFMアンテナを傾けたり回転させると、アンテナを破損する場合があります。
- 本機に人の手が触れていると電波状況が変わることがあります。手を触れない状態で、電波状況が良い場所を探してください。



FMステレオ放送の雑音が気になるときは

FMステレオ放送の受信中に雑音が多いときは、モノラル受信に切り換えると雑音を低減できる場合があります。

ステレオ受信・モノラル受信を切り換えるには、モードボタンを繰り返し押すか、メニューから設定してください(67ページ)。

それでも感度が悪いときは

受信する場所を変えてみてください。



ビルの谷間は避ける。



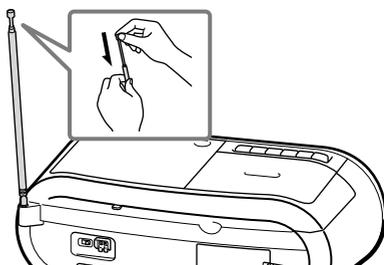
家電製品や携帯電話の近くで使わない。



金属製の机や台の上に置かない。

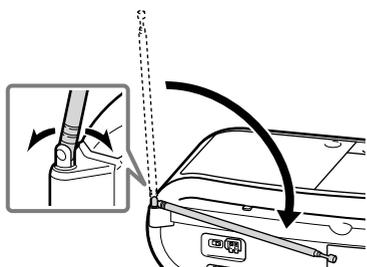
FMアンテナを収納するときは

- 1 FMアンテナをゆっくり縮める。



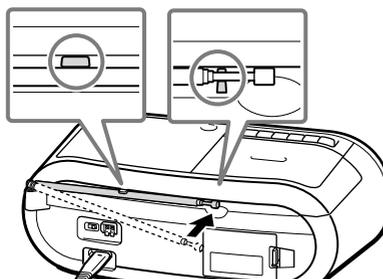
アンテナの先端を持ってゆっくりと押し下げて縮めてください。すばやく押し下げると、縮める際にアンテナが斜めになるなどして、途中で曲がったり、根元で折れたりする恐れがあります。

- 2 アンテナの付け根を見て、軽い力で倒せる方向を確認し、アンテナを本体にぶつからない程度に傾ける。



アンテナの付け根の構造上、図の方向にしか倒せません。不適切な方向に無理にアンテナを倒すと破損する恐れがあります。

- 3 傾けた状態でアンテナを水平に動かし、収納する。

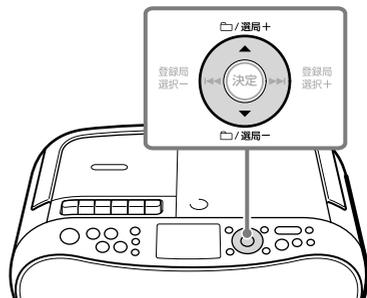


周波数を選んで聞く (マニュアル選局)

- 1 ラジオFM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。
ボタンを押すたびにFMとAMが切り換わります。

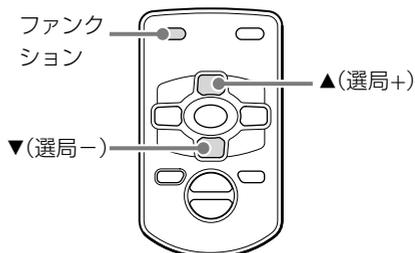
- 2 選局+または-ボタンを押したままにし、周波数の数字が動き始めたら指を離す。

受信状態の良い放送局が見つかったら、周波数の数字の動きが自動的に止まり、放送を受信します。受信できなかったときは、聞きたい局の周波数に切り換わるまで、選局+または-ボタンを繰り返し押します。



リモコンで選局するには

ファンクションボタンを繰り返し押してFMまたはAMを選び、▲(選局+)または▼(選局-)ボタンで周波数を選ぶ。



放送局を自動で登録する

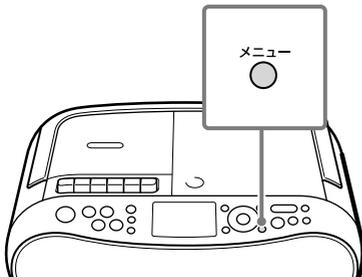
(ラジオ局自動登録)

受信状態の良い放送局を自動的に検索して記憶させ、次からは記憶された番号(登録局番号)でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局の合計30局まで記憶できます。地域設定した放送局の受信状態が良くないときは、ラジオ局自動登録を行ってください。

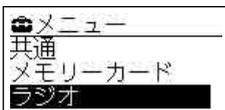
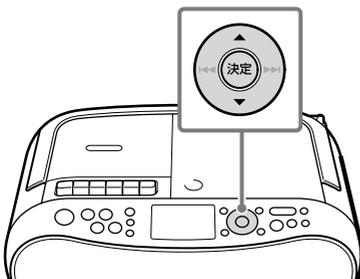
ご注意

- ラジオ局自動登録を実行すると、地域設定(11ページ)で登録した放送局は消去されます。
- AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されなかった場合は、自動時刻補正(63ページ)が動きません。

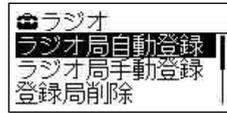
1 ラジオ(FMまたはAM)の受信中にメニューボタンを押す。



2 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。



3 「ラジオ局自動登録」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



登録局の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ検索された局が自動的に記憶されます。

登録局番号を選んで放送局を記憶させるには(ラジオ局手動登録)

電波が弱くラジオ局自動登録で記憶できなかった局があるときや、特定の登録局番号に放送局を記憶させたいときは、登録局番号を選んで放送局を記憶させることができます。詳しくは「ラジオ局手動登録」(66ページ)をご覧ください。

登録局を削除するには

記憶させた放送局は、電源コードを抜いたり、乾電池を取り出したりしても消えません。「登録局削除」(66ページ)をご覧ください。

テープを聞く

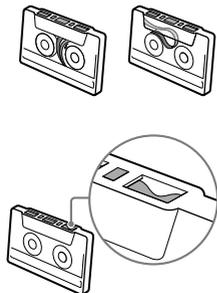
本機では、TYPE I(ノーマル)のカセットテープをお使いください。TYPE II(ハイポジション)、TYPE III(フェリクロム)、TYPE IV(メタル)のテープには対応していません。

操作をする前に、次のことを確認してください。

- テープが機械に巻き込まれるのを防ぐために、カセットデッキに入れる前に鉛筆などでたるみを巻き取るか、カセットデッキに入れたあと再生を始める前に数秒間早送りまたは巻き戻しを行ってください。



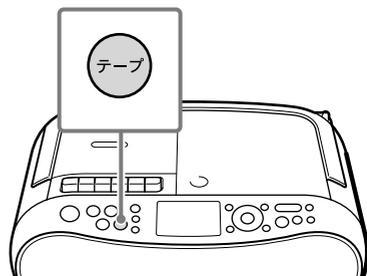
カセット内部でテープがたるんでいる場合もありますので、必ずたるみをとってから再生してください。テープが正しい位置を通らず、動作不良を起こす恐れがあります。



- 長時間テープは機械に巻き込まれる場合がありますので、90分以下のテープをお使いください。

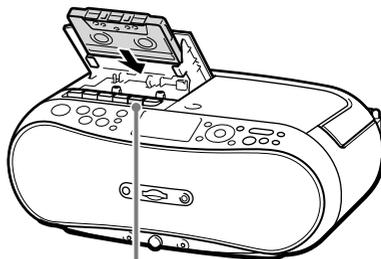
1 テープボタンを押す。

電源が入ります。



2 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める。

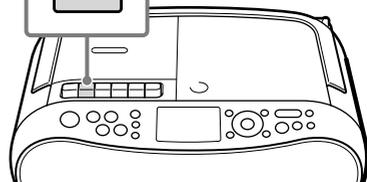
- 聞きたい面を上向きにして、カセットを入れる



3 ▶(再生)ボタンを押す。



「ガチャッ」と音がするまで強く押し込む

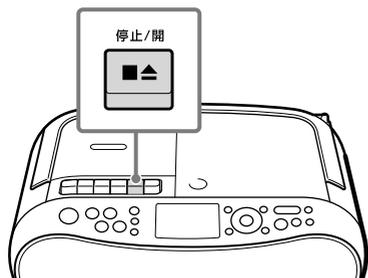


音量を調節するには

音量+または-ボタンを押す(15ページ)。

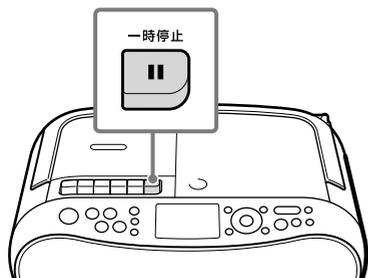
再生をやめるには

■▲(停止/開)ボタンを押す。



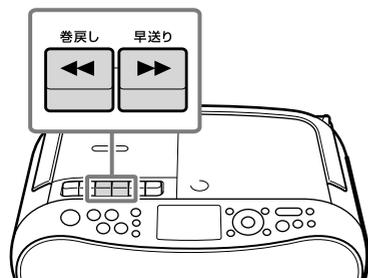
再生中に一時停止するには

|| (一時停止) ボタンを押す。もう一度押すと再生が始まります。



早送りや巻き戻しをするには

▶▶ (早送り) または ◀◀ (巻き戻し) ボタンを押す。



ご注意

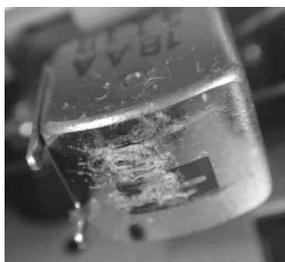
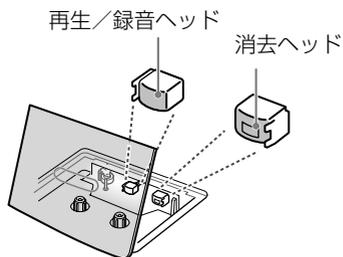
- 電源を切る場合は、必ず■▲(停止/開)ボタンでテープの再生を停止してから電源ボタンを押してください。再生中に電源を切ると、ピンチローラー(71ページ)の変形など故障の原因となります。
- ▶▶(再生)ボタンと同時に◀◀(巻き戻し)ボタンを押さないでください。テープがカセットデッキ内部で巻き込まれる場合があります。

カセット動作時のノイズについて

カセットテープの動作時は、機械式であるカセットデッキの構造そのものに起因する動作音や、テープ走行時のヘッドとテープの物理的な接触によって発生する“ヒスノイズ”、周辺の機器などからの電磁波をヘッドが拾うことによって引き起こされる誘導ノイズなど、さまざまな原因によるノイズが発生することがあります。これらは、カセットテープ特有のものであり、故障ではありません。

ヘッドが汚れたらクリーニングをしてください。
劣化していないテープや汚れのないテープをお使いください。

本体後面から見たところ



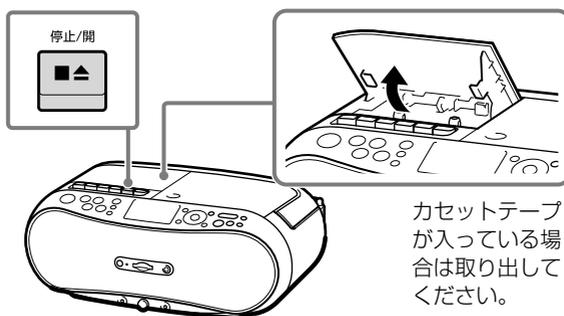
汚れの例(写真は再生/録音ヘッド)

- 「音が小さい/途切れる」、「音が出ない」などの症状や、きれいな音で再生や録音ができなくなるような症状が発生したら、ヘッドの状態を確認し、汚れていたらクリーニングをしてください。
- 「テープの音声が消去できない」、「消去が不完全になる」などにより、「前に録音した音声に重なって録音されたり、録音時の音質が低下する」といった症状が発生したら、ヘッドの状態を確認し、汚れていたらクリーニングをしてください。

故障の原因になりますので、以下をご覧ください、定期的な清掃をしてください。

再生/録音ヘッドの清掃のしかた

1 停止/開(■▲)ボタンを押してカセットぶたを開ける。

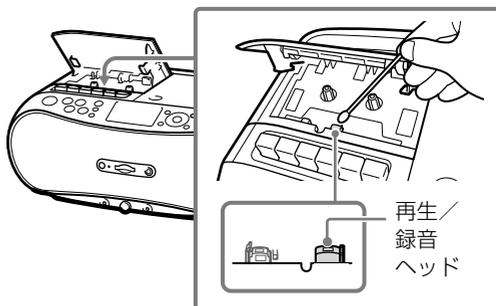


カセットテープが入っている場合は取り出してください。

2 綿棒を使って、清掃する。

付属のヘッドクリーニングキットの綿棒を使い、再生/録音ヘッドの下面(曲面部分)の表面をから拭きしてください。

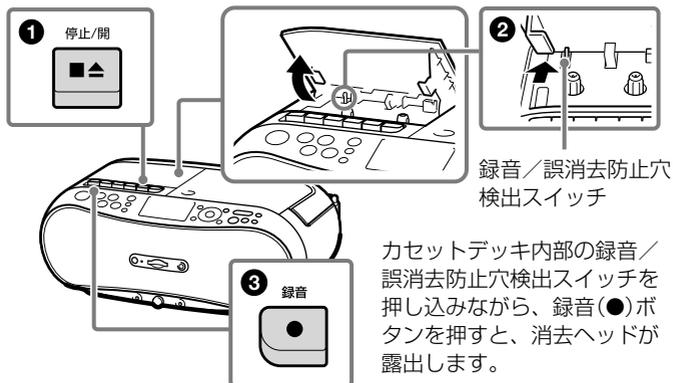
市販のテープヘッド用クリーニング液を綿棒に含ませて清掃するとより効果があります。



再生/録音ヘッド

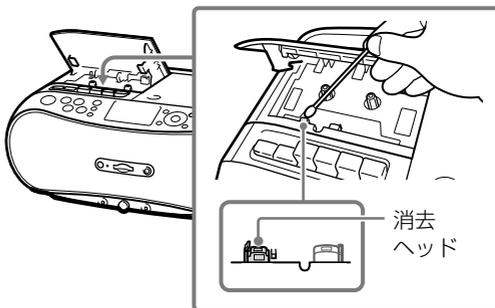
消去ヘッドの清掃のしかた

- 1 停止/開(■▲)ボタンを押してカセットぶたを開け、カセットデッキ内部の録音/誤消去防止穴検出スイッチを押し込みながら、録音(●)ボタンを押す。



- 2 綿棒を使って、清掃する。

付属のヘッドクリーニングキットの綿棒を使い、消去ヘッドの下面(曲面部分)の表面をから拭きしてください。汚れが落ちない場合は、綿棒に市販のテープヘッド用クリーニング液を軽く含ませて清掃してください。



- 3 停止/開(■▲)ボタンを押す。

ヘッドが元の位置に戻ります。

ご注意

- 再生/録音不良、消去不良の原因となりますので、錆び止めや界面活性剤など異なる使用目的の溶剤の使用、ウェットティッシュを使った清掃などはおやめください。
- 綿棒が汚れたときは、市販の綿棒を使ってください。

おやすみタイマーを使う

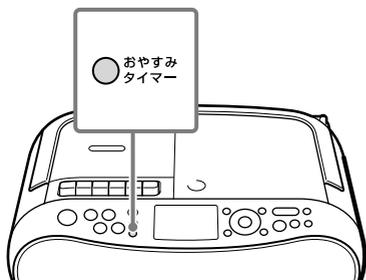
指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら安心してお休みになります。

1 聞きたい音源の再生を始める。

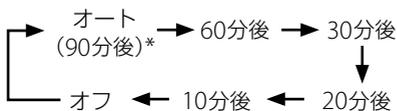
次のページをご覧くださいになり、再生を始めてください。

- CDを聞く(14ページ)
- メモリーカードを聞く(20ページ)
- ラジオを聞く(27ページ)
- テープを聞く(32ページ)

2 おやすみタイマーボタンを繰り返し押し押しして電源が切れるまでの時間(分)を選ぶ。



ボタンを押すたびに、次のとおり表示が切り換わります。



* CD、メモリーカード、テープの再生が終了すると、90分経過する前でも自動的に電源が切れます。

💡 ちょっと一言

おやすみタイマーが働いているときは、表示窓の画面の明るさが暗くなります。

おやすみタイマーを取り消すには「オフ」になるまで、おやすみタイマーボタンを繰り返し押し。または電源ボタンを押して電源を切る。

アラームと組み合わせて使うには

先にアラームを設定してから(37ページ)、おやすみタイマーを設定する。

音源や音量は、アラームとおやすみタイマーそれぞれに設定することができます。

ご注意

- おやすみタイマー動作中に録音を開始した場合、おやすみタイマーは解除されます。
- おやすみタイマー動作中に予約録音開始時刻となった場合、おやすみタイマーは解除されず、予約録音が始まります。
- テープの再生中または録音中は、指定した時間が経過しても、再生や録音が終了するまで電源は切れません。

タイマーを使って目覚める(アラーム)

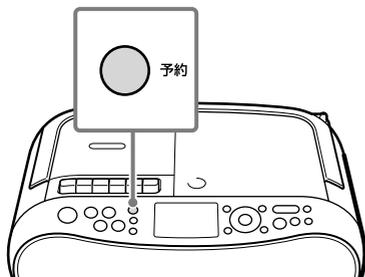
CD、メモリーカード、ラジオまたはブザーのいずれかお好みの音源を目覚まし代わりにすることができます。

あらかじめ、次の準備をしてください。

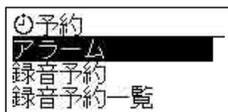
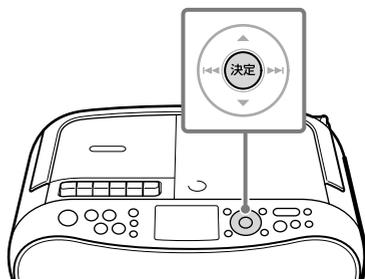
- 時計を合わせる(12ページ)。
- ラジオを音源とする場合、聞きたい放送局が登録されていることを確認する(11ページ、31ページ)。
- CDまたはメモリーカードを音源とする場合、聞きたいCDまたはメモリーカードが入っていることを確認する。

1 電源を入れる。

2 予約ボタンを押す。



3 「アラーム」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



4 アラームの繰り返しを設定する。

毎日繰り返す場合

▲▼ボタンを押して「毎日」を選び、決定ボタンを押す。



曜日を指定して繰り返す場合

- 1 ▲▼ボタンを押して「曜日設定」を選び、決定ボタンを押す。



- 2 ▲▼ボタンを押して設定する曜日を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曜日には、チェックが入ります。



- 3 複数の曜日の場合、手順②を繰り返す。
- 4 ▲▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

5 アラームの時刻を設定する。

「準備5:時計を合わせる」の手順6～7(13ページ)と同じように操作して「時」と「分」を合わせます。最後に「次へ」を選び、決定ボタンを押します。

6 ▲▼ボタンを押して設定したい音源を選び、決定ボタンを押す。



「ブザー」を設定した場合は手順9の操作へ、それ以外を設定した場合は手順7の操作へ進んでください。

7 ▲▼ボタンを押して曲または放送局を選び、決定ボタンを押す。

8 音量を調節する。

音量+または-ボタンを押して音量を調節します。最後に▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押します。

9 ◀▶▶▶ボタンで設定確認後、「完了」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

(●)(アラーム)が点灯します。

アラームを止めるには

■(停止)ボタンを押す。または電源ボタンを押して電源を切る。

アラームの内容を確かめるには

「タイマーを使って目覚める(アラーム)」の手順1～3の操作を行い、◀◀または▶▶▶▶ボタンで画面を切り換える。

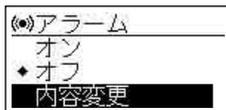
予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

アラームの内容を変更するには

- 1 「タイマーを使って目覚める(アラーム)」の手順1～3の操作を行う。
- 2 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 3 ▲▼ボタンを押して「内容変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 「タイマーを使って目覚める(アラーム)」の手順4～9に従い、アラームの内容を変更する。

アラームの待機状態(オン/オフ)を切り換えるには

- 1 「タイマーを使って目覚める」の手順1～3の操作を行う。
- 2 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す。
(●)(アラーム)が消えます。

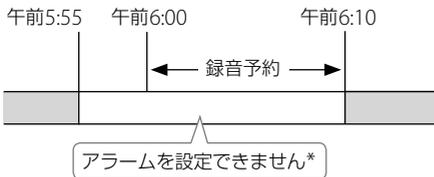
☀ ちょっと一言

- アラームが作動する1分前から、「準備中」と表示されます。
- 予約した時刻になると、再生が始まります。60分間の再生の経過後に、自動的に電源が切れます。
- 一度設定した内容は、電源コードを抜いても保持されます。

ご注意

- 大きな音量に驚かないように、音量を設定してください。
- アラームが動作したときに、音源として設定したCDまたはメモリーカードがなかった場合、ブザーが鳴ります。
- ブザーが音源の場合、アラームが作動して60分間は、停止しない限り5分おきに繰り返しブザーが鳴ります。
- ブザーの音量は設定できません。
- ラジオの録音予約を設定している場合(45ページ)、録音開始時刻の5分前から録音終了時刻までの間はアラームを設定することはできません。

(例)午前6:00～6:10の番組を録音予約している場合

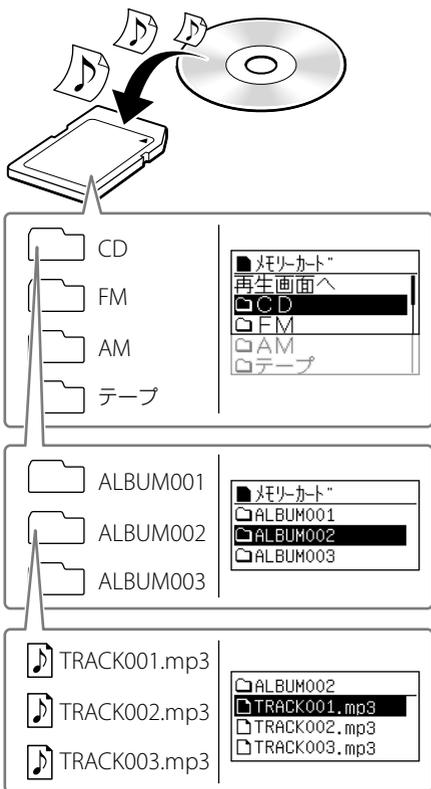


* 「録音予約xxと重複しています。」と表示されます。
(xxは録音予約の番号)

メモリーカードに録音する

メモリーカードへの録音について

本機を使ってメモリーカード(SDカードまたはメモリースティック)に録音した曲や音声は、録音元のファンクション(CD、ラジオなど)の名前のフォルダ内にオーディオファイルとして記録されます。



詳しくは「メモリーカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(54ページ)をご覧ください。

録音フォーマットについて

本機でメモリーカードに録音するときは、サンプリング周波数 44.1kHz(固定)、ビットレート 128kbps(固定)のMP3フォーマットで録音されます。サンプリング周波数、ビットレートは変更できません。

ただし、データCD(MP3/WMA)から録音する場合は、元のフォーマット(MP3またはWMA)とビットレート(kbps)のまま録音されます。

メモリーカードとテープへの録音のちがい

メモリーカードへの録音では、テープと異なりそのしくみ上、上書き録音ができません。空き容量がなくなるまでデータが次々と追加されていくしくみで、空き容量がなくなるまで記録されます。このしくみは、テープに録音するときのように、録音開始位置を決めておく(頭出し)が必要ないということでもあり、テープにはないメモリーカードの利点といえます。空き容量がなくなると録音ができなくなりますが、その場合には不要なデータを削除する(53ページ)などして空き容量を増やすことで、再び録音できるようになります。

ご注意

メモリーカードへの録音中は、メモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

あらかじめ、次の準備をしてください。

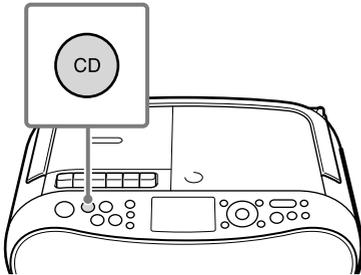
- 本体に電源コードを接続する(10ページ)。
- 使用できるメモリーカードについて確認する(77ページ)。
- メモリーカードの空き容量があるか確認する。確認方法については、「録音可能時間を確認するには」(43ページ)をご覧ください。
- ラジオを録音する場合、ラジオが受信できる状態になっているか確認する。

CDからメモリーカードに録音する (シンクロ録音)

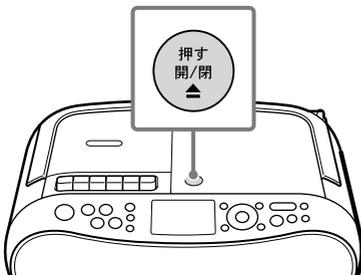
「シンクロ録音」を行うと、CDの全曲をまとめて録音することができます。

1 CDボタンを押す。

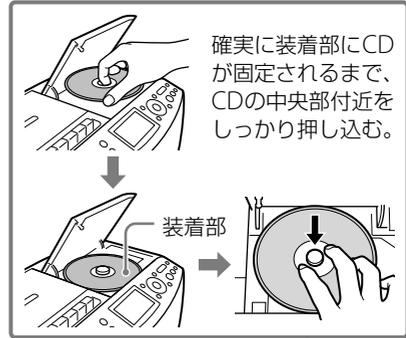
電源が入ります。



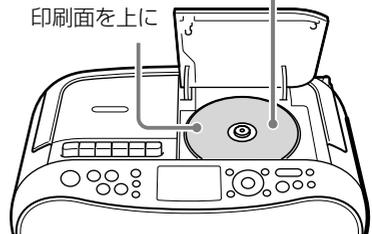
2 開/閉▲部を押してCDぶたを開ける。



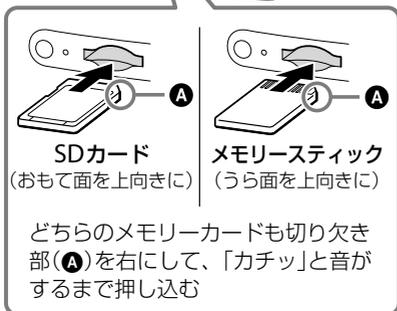
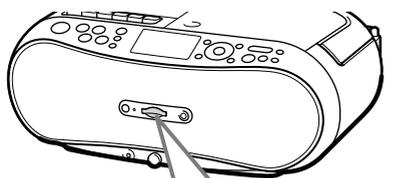
3 CDを入れて、CDぶたを閉める。



確実に装着部にCDが固定されるまで、CDの中央部付近をしっかり押し込む。



4 メモリーカードを入れる。



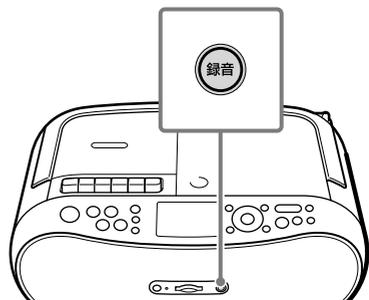
で注意

microSDまたはmicroSDHC、およびメモリスティックマイクロは、それぞれ専用のアダプターに入れてから使用してください。詳しくは、「メモリーカードの使用について」(77ページ)をご覧ください。

💡 ちょっと一言

SDカードの書き込み禁止スイッチが解除されていることを確認してください(79ページ)。

5 CDが停止中に、録音ボタンを押す。



「録音準備中」と表示されたあと、録音が始まります。録音中の表示は、次のとおりです。全曲の録音が完了すると、自動的に録音は停止します。



録音が完了した曲数/
CDの総曲数

録音中は、スピーカーから音は出力されません。

録音は、CDの収録時間の約半分の時間で完了します。

好きな曲順で録音するには

手順4のあとにCDのプログラム登録を行い(25ページ)、メモリーカードの録音ボタンを押す。

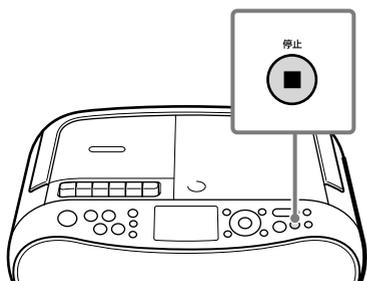
CDからメモリーカードに1曲ずつ録音するには(1曲録音)

「CDからメモリーカードに録音する」の手順1～4の操作を行ったあと、録音したい曲を再生または一時停止状態にしてメモリーカードの録音ボタンを押す。再生中の曲のみを録音することができます。

録音が完了すると、自動的に録音は停止します。再生は録音完了後も続きますので、■(停止)ボタンで停止してください。

録音を途中でやめるには

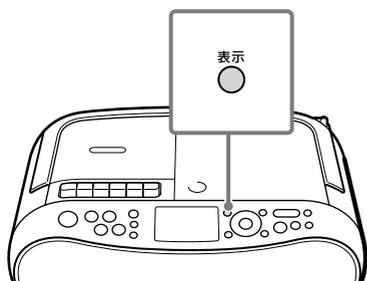
■(停止)ボタンを押す。



録音可能時間を確認するには

表示ボタンを押す。

メモリーカードの録音可能時間が表示されます。



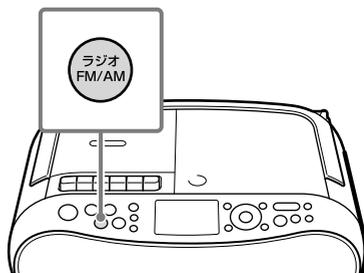
💡 ちょっと一言

録音可能時間はメニューから確認することもできます(64ページ)。

ラジオをメモリーカードに録音する

1 ラジオFM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。

電源が入ります。

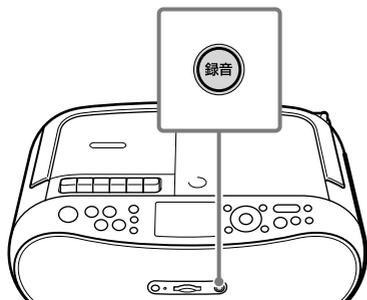


2 録音する放送局を受信する。

「ラジオを聞く」の手順4(27ページ)または「周波数を選んで聞く(マニュアル選局)」の手順2(30ページ)をご覧ください。

3 メモリーカードを入れる(42ページ)。

4 録音ボタンを押す。



「録音準備中」と表示されたあと、録音が始まります。録音中の表示は次のとおりです。



録音をやめるには

■(停止)ボタンを押す(43ページ)。

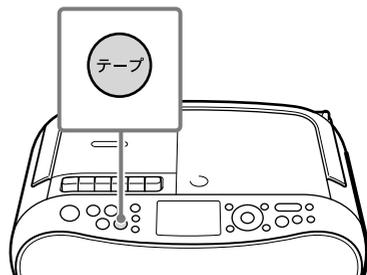
ご注意

- AM放送を録音するとき、受信状態によっては雑音が生じる場合があります。雑音が生じた場合、AMループアンテナを使ってください。詳しくは「AMループアンテナを使うには」(28ページ)をご覧ください。
- CDの曲を録音する場合と異なり、ラジオの録音では自動的に録音は停止しませんので、■(停止)ボタンを押して録音を停止してください。また、ラジオ放送の番組全体を録音する場合は、あらかじめ放送時間やメモリーカードの録音可能時間を確認してから録音を行ってください。
- 一度に録音できるのは最大24時間です。

テープからメモリーカードに録音する

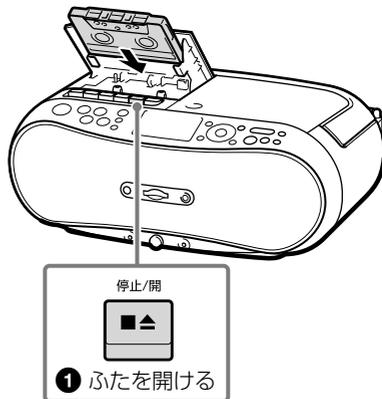
1 テープボタンを押す。

電源が入ります。



2 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める。

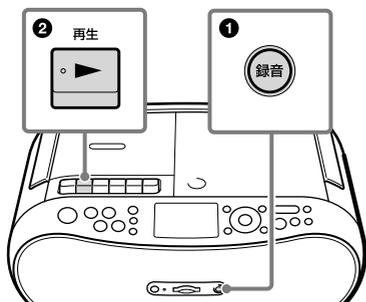
- ② 聞きたい面を上向きにして、カセットを入れる



あらかじめ録音を開始したい位置までテープを早送りし(または巻き戻し)、停止しておいてください。

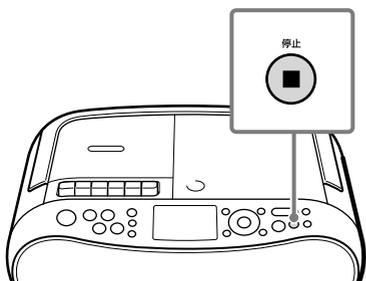
3 メモリーカードを入れる(42ページ)。

4 録音ボタンを押し(①)、▶(再生)ボタンを押す(②)。

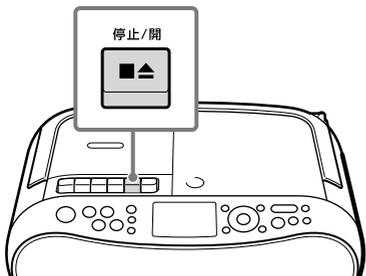


録音を途中でやめるには

■(停止)ボタンを押す。



テープの再生もやめる場合は、■▲(停止/開)ボタンを押してください。テープの再生をやめると、自動で録音も停止します。



ラジオの予約録音をする

お気に入りのラジオ番組を予約して、メモリーカードに録音することができます。最大10件の予約が設定できます。

あらかじめ、次の準備をしてください。

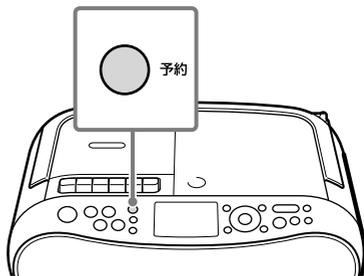
- 時計を合わせる(12ページ)。
- 録音したい放送局が登録されているか確認する(11ページ、31ページ)。
- SDカードをお使いの場合は、書き込み禁止スイッチが解除されているか確認する(79ページ)。

録音する

1 電源を入れる。

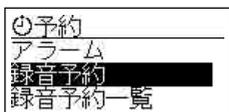
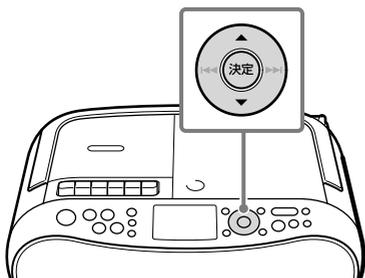
2 メモリーカードを入れる(42ページ)。

3 予約ボタンを押す。



4 ▲▼ボタンを押して「録音予約」を選び、決定ボタンを押す。

「メモリーカードに録音されます。」と表示されたあと、手順5の画面に切り換わります。



5 予約の繰り返しを設定する。

1回のみ予約録音する場合

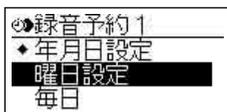
- 1 「年月日設定」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



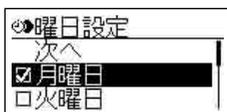
- 2 年月日を合わせる。
「準備5:時計を合わせる」の手順3～4(13ページ)と同じように操作して「年」、「月」、「日」を合わせます。
- 3 ▲▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

曜日を指定して繰り返す場合

- 1 ▲▼ボタンを押して「曜日設定」を選び、決定ボタンを押す。



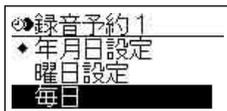
- 2 ▲▼ボタンを押して録音予約したい曜日を選び、決定ボタンを押す。
選んだ曜日には、チェックが入ります。



- 3 複数の曜日を指定するときは、手順2を繰り返す。
- 4 ▲▼ボタンを押して「次へ」を選び、決定ボタンを押す。

毎日繰り返す場合

▲▼ボタンを押して「毎日」を選び、決定ボタンを押す。



6 録音の開始時刻と終了時刻を設定する。

「準備5:時計を合わせる」の手順6～7(13ページ)と同じように操作して「時」と「分」を合わせます。
最後に「次へ」を選び、決定ボタンを押します。

7 ▲▼ボタンを押して録音したい音源 (FMまたはAM)を選び、決定ボタンを押す。

8 ▲▼ボタンを押して録音したい放送局を選び、決定ボタンを押す。

9 ◀▶▶▶▶ボタンを押して予約内容を確認し、決定ボタンを押す。

登録した順に予約の番号がつけられます。録音が予約されているときは、表示窓に  (録音予約)が表示されます。

録音予約を確認するには

- 1 予約ボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「録音予約一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して確認したい録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ◀▶▶▶▶ボタンを押して内容を確認する。
- 5 予約ボタンを押して確認を終了する。

録音予約の内容を変更するには

- 1 予約ボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「録音予約一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して変更する録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 5 「内容変更」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 6 「ラジオの予約録音をする」の手順5～9に従い、録音予約の内容を変更する。

録音予約を削除するには

- 1 予約ボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「録音予約一覧」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して削除したい録音予約の番号を選び、決定ボタンを押す。
- 4 「編集」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 5 ▲▼ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 ▲▼ボタンを押して「実行」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 予約ボタンを押して録音予約の削除を終了する。

ご注意

- 時計用電池を本体に入れていない状態で(または電池が消耗した状態で)電源コードを抜いたり、停電になった場合、録音予約の内容は保持されませんが、時計設定はリセットされます。もう一度時計を設定してください。
- 電源がオフの状態では、録音開始1分前から録音ボタンが赤く点滅し、予約録音中は赤く点灯した状態になります。このとき、音声は出力されません。
- 電源がオンの状態で予約録音開始時刻になった場合、予約録音が優先され、録音する放送局に切り換わります。予約録音が終了しても、引き続き録音した放送局を受信します。

予約した番組をテープに録音したいときは

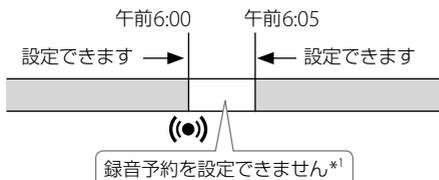
テープに直接予約録音することはできません。まずメモリーカードに予約録音してから、メモリーカードの内容をテープに録音してください。メモリーカードからテープへの録音方法については、「メモリーカードからテープに録音する」(51ページ)をご覧ください。

予約時刻の制限について

設定済みの録音予約やアラーム設定と時刻が重なる場合、録音予約を設定できなかったり、録音が設定時刻より早く終了します。

アラームの設定時刻から5分間は、予約録音の開始時刻または終了時刻を設定することはできません。

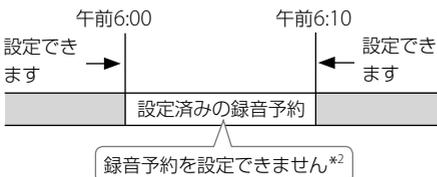
(例)午前6:00にアラームを設定している場合



*1 時刻設定の完了時に「アラームと重複しています。」と表示されます。

設定済みの録音予約と重なる時刻に、別の録音の開始時刻または終了時刻を設定することはできません。

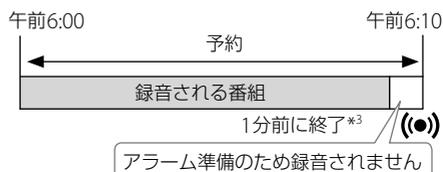
(例)午前6:00～6:10の番組をすでに録音予約している場合



*2 「録音予約xxと重複しています。」と表示されます。
(xxは録音予約の番号(1-10))

予約録音の終了時刻とアラームの設定時刻が重なる場合、録音が設定した時刻より早く終了します。

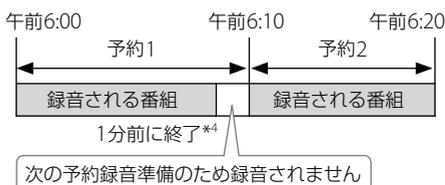
(例)午前6:00～6:10の番組を録音予約し、アラームを午前6:10に設定している場合



*3 「連続予約のため録音を約1分早く終了します。」と表示されます。

予約録音が連続する場合、先行する録音が設定した時刻より早く終了します。

(例)午前6:00～6:10と午前6:10～6:20の番組を録音予約している場合



*4 「連続予約のため録音を約1分早く終了します。」と表示されます。

ご注意

次のような場合も録音予約を設定することができません。

- 開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定しようとした場合
- 開始時刻の1分後に終了時刻を設定しようとした場合
- 設定しようとした終了時刻がすでに過ぎている場合

テープに録音する

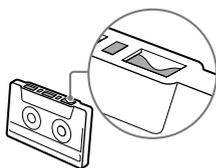
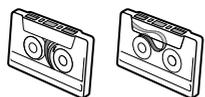
本機では、TYPE I(ノーマル)のカセットテープをお使いください。TYPE II(ハイポジション)、TYPE III(フェリクロム)、TYPE IV(メタル)のテープには対応していません。

操作をする前に、次のことを確認してください。

- テープが機械に巻き込まれるのを防ぐために、カセットデッキに入れる前に鉛筆などでたるみを巻き取るか、カセットデッキに入れたあと録音を始める前に数秒間早送りまたは巻き戻しを行ってください。



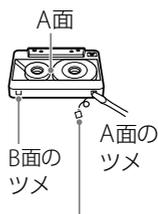
カセット内部でテープがたるんでいる場合もありますので、必ずたるみをとってから録音してください。テープが正しい位置を通らず、動作不良を起こす恐れがあります。



- 長時間テープは機械に巻き込まれる場合がありますので、90分以下のテープをお使いください。

- カセットのツメが折れているときは録音できません。ツメが折れた部分の穴をセロハンテープなどでふさぐと再び録音できます。

録音できないとき

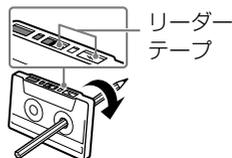


録音できるとき



録音したあとに、録音できないようにツメを折ったときは、必ず廃棄してください。誤って本体内部に入ると故障の原因になります。

- テープの両端には「リーダーテープ」と呼ばれる録音できない部分があります(磁性体の塗られていない部分)。録音時の頭切れを防ぐために、「リーダーテープ」の部分は鉛筆などで送ってからカセットを入れてください。



ご注意

- 電源を切る場合は、必ず■▲(停止/開)ボタンで録音を停止してから電源ボタンを押してください。録音中に電源を切ると、ピンチローラー(71ページ)の変形など故障の原因となります。
- テープへの録音中に、同時にメモリーカードへ録音することはできません。
- テープへの録音中に|||(一時停止)ボタンで録音を一時停止しても、録音中の画面表示(カウンター)は続きます。



* 実際の録音時間とは異なります。

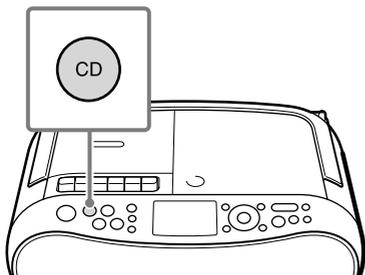
録音した音が悪いときは

再生/録音ヘッド、消去ヘッドの汚れがひどくなると、きれいな音で録音できなくなったり、故障の原因になります。定期的に掃除を行うとともに、大切な録音を行う前には、あらかじめ掃除しておくことをおすすめします。掃除の仕方について詳しくは、「再生/録音ヘッドの清掃のしかた」(34ページ)および「消去ヘッドの清掃のしかた」(35ページ)をご覧ください。

CDからテープに録音する

1 CDボタンを押す。

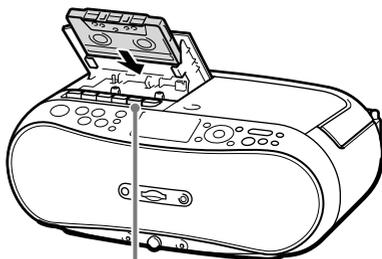
電源が入ります。



2 CDを入れる(41ページ)。

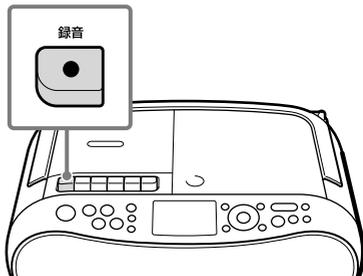
3 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める。

- ② 録音したい面を上向きにして、カセットを入れる



4 CDが停止中に、●(録音)ボタンを押す。

自動でCDの1曲目から再生が始まり、テープに録音されます。テープの終わりまでくると、録音は自動的に停止します。



💡 ちょっと一言

テープへの録音が停止しても、CDの再生は自動で止まりません。

CDの途中から録音するには

録音を開始したい曲の再生中に■(停止)ボタンを押してから、テープの●(録音)ボタンを押す。

停止した曲の頭から自動で再生が始まり、テープに録音されます。

💡 ちょっと一言

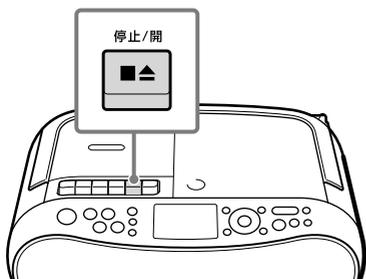
曲の途中から録音したい場合は、録音を開始したいところで▶|| (再生/一時停止) ボタンを押して一時停止させ、テープの●(録音) ボタンを押してから、もう一度▶|| (再生/一時停止) ボタンを押してください。

好きな曲順で録音するには

手順3のあとにCDのプログラム登録を行い(25ページ)、テープの●(録音)ボタンを押す。

録音を途中でやめるには

■▲(停止/開)ボタンを押す。

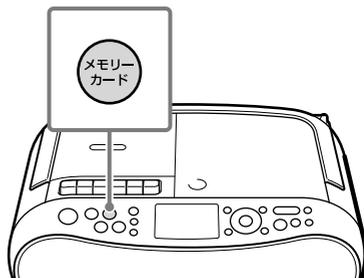


CDの再生もやめる場合は、■(停止)ボタンを押してください。

メモリーカードからテープに録音する

1 メモリーカードボタンを押す。

電源が入ります。



2 メモリーカードを入れる (42ページ)。

3 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める (50ページ)。

4 テープの●(録音)ボタンを押す (50ページ)。

自動でメモリーカードの再生が始まり、テープに録音されます。

テープの終わりまでくると、録音は自動的に停止します。

💡 ちょっと一言

テープへの録音が停止しても、メモリーカードの再生は自動で止まりません。

メモリーカードの途中から録音するにはメモリーカードの再生中、録音を開始したいところで■(停止)ボタンを押してから、テープの●(録音)ボタンを押す。
停止したところから自動で再生が始まり、テープに録音されます。

ご注意

▶|| (再生/一時停止)ボタンでメモリーカードの再生を停止した場合、テープの●(録音)ボタンを押しても、メモリーカードの再生は自動で始まりません。もう一度▶|| (再生/一時停止)ボタンを押して、一時停止を解除してください。

好きな曲順で録音するには

手順3のあとにメモリーカードのプログラム登録を行い(25ページ)、テープの●(録音)ボタンを押す。

録音を途中でやめるには

■▲(停止/開)ボタンを押す(51ページ)。メモリーカードの再生もやめる場合は、■(停止)ボタンを押してください。

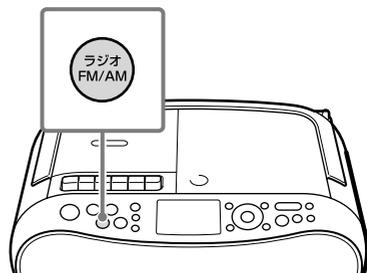
ラジオをテープに録音する

ご注意

テープにラジオの予約録音(45ページ)をすることはできません。

1 ラジオFM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。

電源が入ります。



2 録音する放送局を受信する。

「ラジオを聞く」の手順4(27ページ)または「周波数を選んで聞く(マニュアル選局)」の手順2(30ページ)をご覧ください。

3 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める(50ページ)。

4 テープの●(録音)ボタンを押す(50ページ)。

ラジオがテープに録音されます。

録音を途中でやめるには

■▲(停止/開)ボタンを押す(51ページ)。

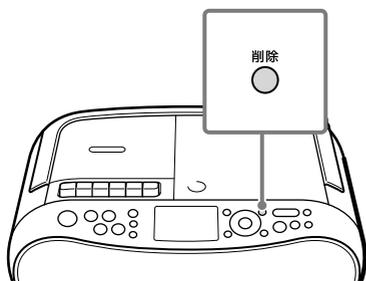
AM放送の録音中に雑音が入るときは

AM放送を録音するとき、手順4で●(録音)ボタンを押したあとに「ピー」という雑音が出たら、モードボタンを繰り返し押してISS(干渉抑制スイッチ)を切り換えてみてください。雑音が軽減する場合があります。

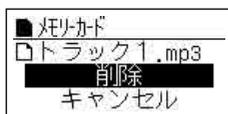
録音した曲や音声を削除する

メモリーカードのデータを削除する

- 1 メモリーカードボタンを押す。
- 2 メモリーカードを入れる。
- 3 ▲▼ボタンを押して削除したい曲(またはフォルダ)を選ぶ。
メモリーカード内のフォルダや録音データの構成については、「メモリーカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて」(54ページ)をご覧ください。
- 4 削除ボタンを押す。



- 5 ▲ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。



再生中の曲を削除するには

- 1 曲の再生中(または停止中)に削除ボタンを押す。
- 2 ▲ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

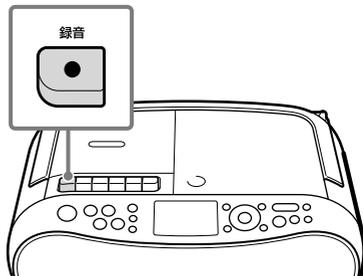
メモリーカードのデータを一度にすべて消すには

「全削除」(65ページ)をご覧ください。

テープの曲や音声を消去する

テープに録音した曲や音声を消去するには、上書き録音する必要があります。

- 1 テープボタンを押す。
- 2 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める。
- 3 ●(録音)ボタンを押す。

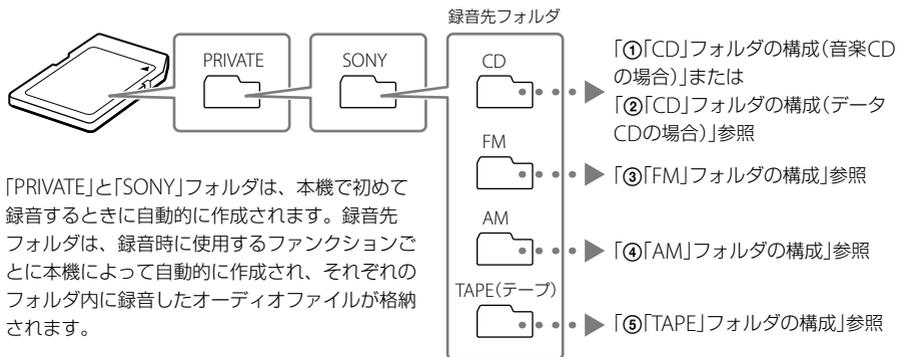


無音状態が録音され、テープ内の曲や音声が上書き消去されます。

メモリーカードのフォルダ(グループ)構成と録音データについて

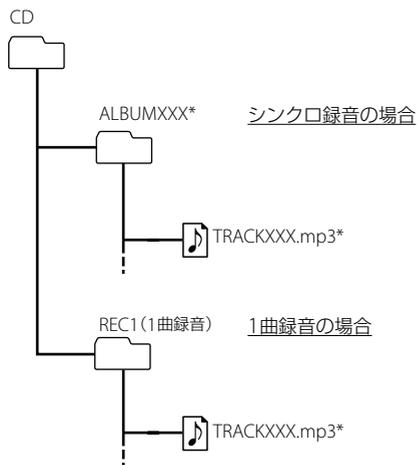
本機でメモリーカード(SDカードまたはメモリースティック)に録音すると、録音データ(オーディオファイル)は次のフォルダ(グループ)構成でメモリーカード上に格納されます。

メモリーカード上のフォルダ構成



①「CD」フォルダの構成(音楽CDの場合)

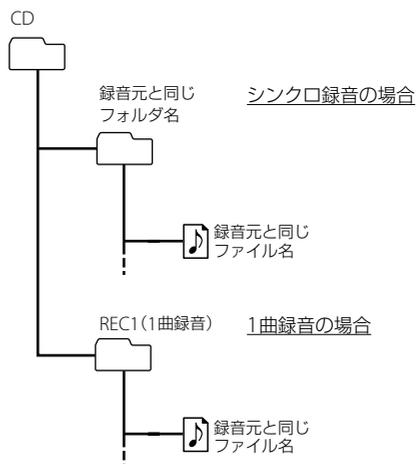
音楽CDからメモリーカードに録音した場合、シンクロ録音(41ページ)と1曲録音(43ページ)でそれぞれ次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



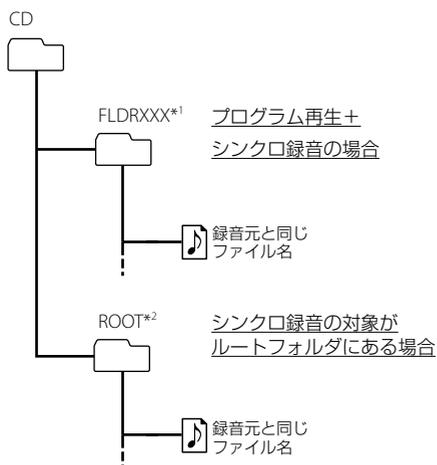
* 「XXX」には連番の数字(001 ~ 999)が入ります。

②「CD」フォルダの構成(データCDの場合)

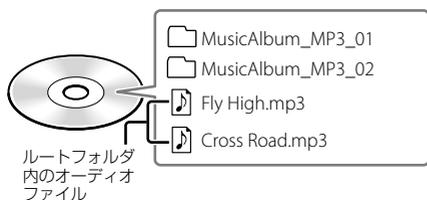
データCD(MP3/WMA)からメモリーカードに録音した場合、シンクロ録音(41ページ)と1曲録音(43ページ)でそれぞれ次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されません。



なお、データCDからプログラム再生(25ページ)の設定を行ってシンクロ録音をした場合と、データCD上のルートフォルダ内のオーディオファイルを録音した場合のフォルダ構成は、次のとおりとなります。

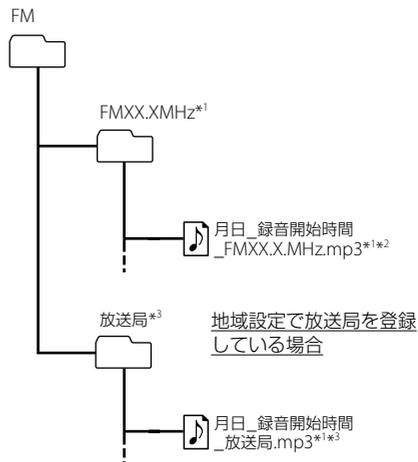


- *1「XXX」には連番の数字(001～999)が入ります。
- *2「ROOT」は、データCD上のルートフォルダ内のオーディオファイルを録音したときに格納するためのフォルダです。データCD作成時にフォルダに入れずにオーディオファイルを記録すると、ディスク上の最上層フォルダ(ルートフォルダ)にオーディオファイルが記録されます。不可視の設定の特別なフォルダのため、見かけ上は下図の例のようにフォルダに入っていない状態に見えます。



③「FM」フォルダの構成

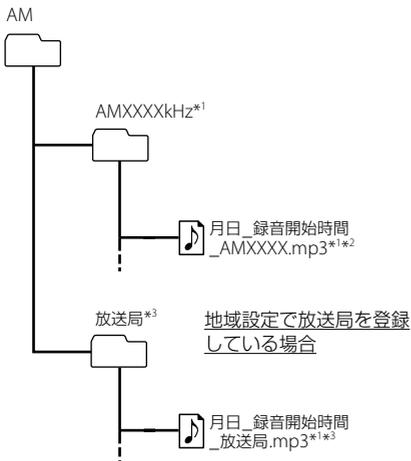
FMラジオ放送をメモリーカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



- *1「XX.X」には周波数の数字が入ります。
- *2 録音した日時と周波数がファイル名になります。
(例:07月15日_0123_FM79.8MHz.mp3)
- *3 地域設定(11ページ)で放送局を登録している場合は、放送局名がフォルダ・ファイル名に使用されます。

④「AM」フォルダの構成

AMラジオ放送をメモリーカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



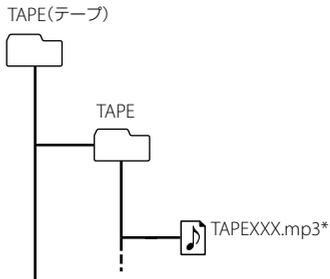
*1 「XXXX」には周波数の数字が入ります。

*2 録音した日時と周波数がファイル名になります。
(例:07月15日_0123_AM1234kHz.mp3)

*3 地域設定(11ページ)で放送局を登録している場合は、放送局名がフォルダ・ファイル名に使用されます。

⑤「TAPE」フォルダの構成

テープからメモリーカードに録音した場合は、次のフォルダ構成でオーディオファイルが格納されます。



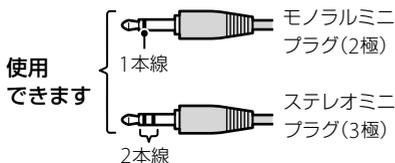
* 「XXX」には連番の数字(001 ~ 999)が入ります。

カラオケをする

別売りのマイクをつないで、CDやテープなどカラオケになる音に合わせて歌ったり、話したりできます。

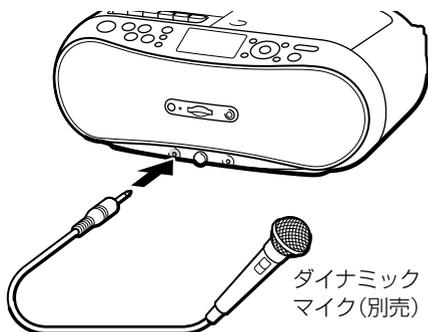
あらかじめ、次の準備をしてください。

- 本体に電源コードを接続する(10ページ)。
- マイク音量を「小」の方にまわす。マイク音量が大きいと、マイクを接続したときに「ピーッ」という音(ハウリング)が起こることがあります。
- 使用するマイクのプラグを確認する。本機では、モノラルミニプラグ(2極)、ステレオミニプラグ(3極)以外のマイクは使用できません。



1 マイク端子にマイクをつなぐ。

マイクに電源スイッチがある場合は電源を入れてください。

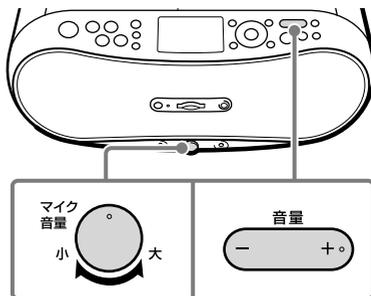


2 カラオケになる音の再生を始める。

次のページをご覧くださいになり、再生を始めてください。

- CDを聞く(14ページ)
- メモリーカードを聞く(20ページ)
- ラジオを聞く(27ページ)
- テープを聞く(32ページ)

3 音量ボタンとマイク音量つまみで音量を調節する。



ご注意

- 本機はダイナミックマイクのみ使用できます。プラグインパワー方式には対応していないため、コンデンサーマイクは使用できません。
- エコー内蔵のマイクは「ピーッ」という音(ハウリング)を起こしやすいので、音量を小さくしてお使いください。
- マイクを使っているときにハウリングが出たら、マイクの頭をスピーカーと違う方向へ向けてください。
- 本機にはボーカルキャンセル機能はありません。

カラオケやマイクの 音声を録音する

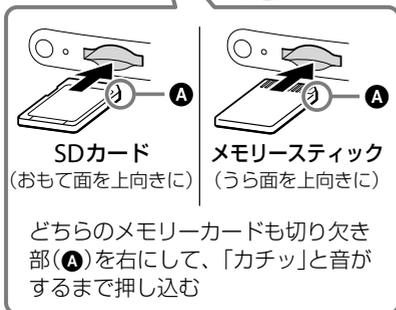
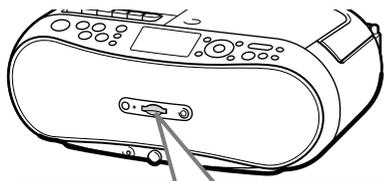
カラオケとカラオケに合わせた歌声をマイクを通じてメモリーカードやテープに録音することができます。マイクの音声だけを録音することもできます。

メモリーカードに録音する

1 マイク端子にマイクをつなぐ (57ページ)。

マイクに電源スイッチがある場合は電源を入れてください。

2 メモリーカードを入れる。



ご注意

microSDまたはmicroSDHC、およびメモリースティックマイクロは、それぞれ専用のアダプターに入れてから使用してください。詳しくは、「メモリーカードの使用について」(77ページ)をご覧ください。

💡 ちょっと一言

SDカードの書き込み禁止スイッチが解除されていることを確認してください(79ページ)。

3 録音を始める。

カラオケを録音する場合

次のページをご覧ください。録音を始めてください。

- CDからメモリーカードに録音する (41ページ)
- ラジオをメモリーカードに録音する (43ページ)
- テープからメモリーカードに録音する (44ページ)

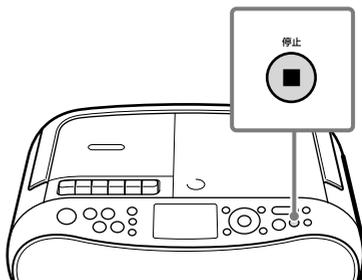
マイクの声も一緒に録音されます。

マイクの音声だけを録音する場合

- ① テープ(マイク)ボタンを押す。
- ② メモリーカードの録音ボタンを押す。

録音をやめるには

■(停止)ボタンを押す。



ご注意

カラオケの音源がデータCD(MP3/WMA)の場合は、カラオケの録音はできません。

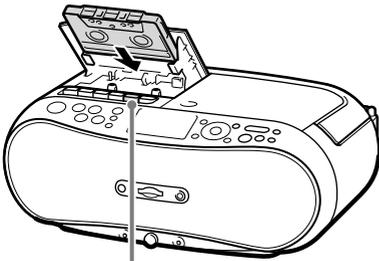
テープに録音する

1 マイク端子にマイクをつなぐ (57ページ)。

マイクに電源スイッチがある場合は電源を入れてください。

2 カセットぶたを開けてカセットを入れ、カセットぶたを閉める。

② 録音したい面を上向きにして、カセットを入れる



① ふたを開ける

3 録音を始める。

カラオケを録音する場合

次のページをご覧ください。録音を始めてください。

- CDからテープに録音する(50ページ)
- メモリーカードからテープに録音する(51ページ)
- ラジオをテープに録音する(52ページ)

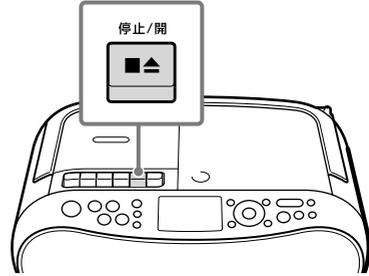
マイクの声も一緒に録音されます。

マイクの音声だけを録音する場合

- ① テープ(マイク)ボタンを押す。
- ② テープの●(録音)ボタンを押す。

録音をやめるには

■▲(停止/開)ボタンを押す。



マイクで話す (拡声する)

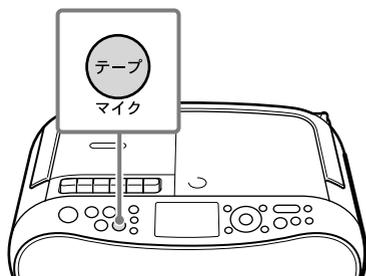
別売りのマイクをつないで、本機を拡声器としてお使いいただけます。

1 マイク端子にマイクをつなぐ (57ページ)。

マイクに電源スイッチがある場合は電源を入れてください。

2 テープ(マイク)ボタンを押す。

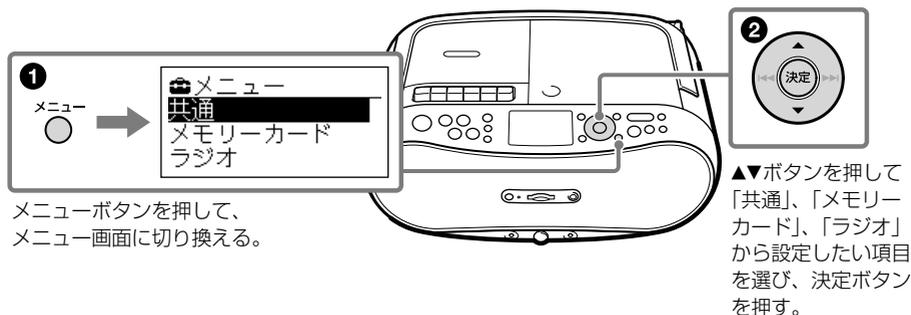
電源が入ります。



3 音量ボタンとマイク音量つまみで 音量を調節する(57ページ)。

メニューボタンから設定する

電源が入っているときにメニューボタンを押すと、さまざまな設定ができます。表示される項目は、使用状況によって異なります。



設定できる項目は次のとおりです。
設定方法については、それぞれの項目をご覧ください。

共通

項目	できること
MEGA BASS (62ページ)	重低音のオン/オフの設定をします。
画面の明るさ (62ページ)	表示窓の画面の明るさを調整します。
時計設定 (62ページ)	時計を合わせます。
時刻表示設定 (62ページ)	時刻表示のしかたを設定します。
自動時刻補正 (63ページ)	時報を使って、自動で時計のずれを修正します。
時計用電池残量 (63ページ)	時計用電池の残量を確認できます。
コントラスト (64ページ)	表示窓の画面の濃淡を調整します。

メモリーカード

メモリーカード使用時のみ設定できます。

項目	できること
録音可能時間 (64ページ)	メモリーカードの録音可能時間を調べます。
メモリーカード情報 (64ページ)	メモリーカード内のフォルダ数・総ファイル数を確認できます。
全削除 (65ページ)	メモリーカード内にあるすべてのデータを削除します。

ラジオ

ラジオ受信時のみ設定できます。

項目	できること
ラジオ局自動登録 (66ページ)	受信状態の良い放送局を自動的に登録局番号に記憶させます。
ラジオ局手動登録 (66ページ)	特定の登録局番号に放送局を記憶させます。
登録局削除 (66ページ)	登録した登録局番号を削除します。
FMモード (67ページ)	ステレオとモノラルを切り換えます。
地域設定 (67ページ)	地域を設定します。

共通設定

MEGA BASS

本機では、MEGA BASS機能により迫力のある重低音が楽しめます。リモコンのMEGA BASSボタンを繰り返し押ししてオン/オフできることに加え、「共通」設定でもお好みに応じてMEGA BASS機能をオン/オフすることができます。

「オン」を選ぶと、音量を上げておひすみにくく、また小音量時でも迫力のある低音が得られます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 「MEGA BASS」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



- 4 ▲▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す。
オン(初期設定): MEGA BASS機能を有効にします。オンのときは、画面に**MEGA BASS**と表示されます。
オフ: MEGA BASS機能を無効にします。
- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

画面の明るさ

表示窓の画面の明るさを3段階の中から選んで設定できます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

- 3 ▲▼ボタンを押して「画面の明るさ」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ▲▼ボタンを押してお好みの設定を選び、決定ボタンを押す。
明るい(初期設定): 画面が明るくなります。
暗い: 画面が暗くなります。
オフ: 画面のバックライトが消えます。

- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

時計設定

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「時計設定」を選び、決定ボタンを押す。



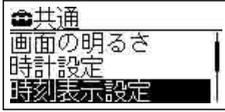
- 4 時計を合わせる。
時計の合わせかたについては、「準備5: 時計を合わせる」(12ページ)をご覧ください。
- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

時刻表示設定

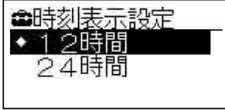
時刻表示形式を「12時間」または「24時間」から選べます。「12時間」の表示では、「AM」または「PM」が表示されます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

- 3 ▲▼ボタンを押して「時計表示設定」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ▲▼ボタンを押してお好みの設定を選び、決定ボタンを押す。



12時間(初期設定): 時刻を12時間表示にします。

24時間: 時刻を24時間表示にします。

- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

自動時刻補正

本機はNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を検出し、自動で時刻を補正することができます。自動時刻補正を「オン」に設定すると、毎日午後0:00、午後4:00、午後8:00の時刻に3回の補正が行われます。

時刻補正を行うためには次の条件を満たしている必要があります。

- 本機の時計と時報の時刻のずれが3分以内である。
- AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されている(66ページ)*。

- 本機の電源を切っている。

* 地域設定(11ページ、67ページ)が完了している場合は、AMの登録局番号P01にはNHK第1放送がすでに登録されていて、自動時刻補正は自動的に「オン」に設定されます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

- 3 ▲▼ボタンを押して「自動時刻補正」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ▲▼ボタンを押して「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す。



オン: 自動時刻補正の機能を有効にします。

オフ(初期設定): 自動時刻補正の機能を無効にします。

- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

ご注意

以下の場合には自動補正が機能しません。

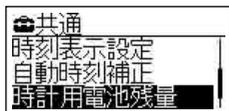
- － 時計を設定していない場合
- － AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されていない場合
- － ラジオの受信状態が悪い場合
- － 電源が入っている場合
- － 電源コードを接続していない場合
- － 予約録音動作中
- － 時計設定で設定された時刻が3分以上ずれていて、処理中に時報音が検出できない場合

時計用電池残量

時計用電池の残量を一目で確認することができます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。

- 3 ▲▼ボタンを押して「時計用電池残量」を選び、決定ボタンを押す。



「新しい電池を入れてください」と表示された場合、すべての電池を交換してください。

電池残量がある場合



電池残量がない場合

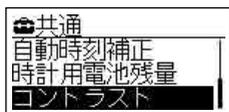


- 4 メニューボタンを押して終了する。

コントラスト

表示窓の画面の濃淡を9段階で調整できます。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 「共通」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「コントラスト」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ◀▶▶▶ボタンでコントラストを調節し、決定ボタンを押す。



- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

メモリーカード使用時の設定

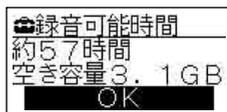
録音可能時間

メモリーカードの録音可能時間と残容量を表示します。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「メモリーカード」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「録音可能時間」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押す。



録音可能時間と空き容量が表示されます。



決定ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ります。

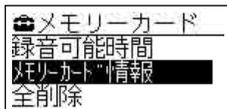
- 4 メニューボタンを押して終了する。

メモリーカード情報

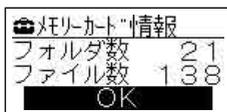
メモリーカードの総フォルダ数・総ファイル数を表示します。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「メモリーカード」を選び、決定ボタンを押す。

- 3 ▲▼ボタンを押して「メモリーカード情報」を選び、決定ボタンを押す。



フォルダ数とファイル数が表示されます。



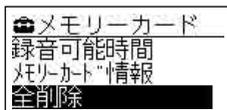
決定ボタンを押すとひとつ前の画面に戻ります。

- 4 メニューボタンを押して終了する。

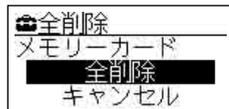
全削除

メモリーカード内にあるすべてのデータを一度に削除します。

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「メモリーカード」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「全削除」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 ▲▼ボタンを押して「全削除」を選び、決定ボタンを押す。



削除中は録音ボタンの周りが赤く点滅します。削除中はメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

削除が完了すると、「削除しました。」と表示されます。

- 5 メニューボタンを押して設定を終了する。

ご注意

一度削除したデータは元に戻すことはできません。データを削除する際は、充分注意して行ってください。

ラジオ受信時の設定

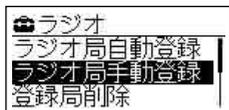
ラジオ局自動登録

「放送局を自動で登録する(ラジオ局自動登録)」(31ページ)の手順をご覧ください。

ラジオ局手動登録

電波が弱く、ラジオ局自動登録で記憶できない局があるときや、特定の登録局番号に放送局を記憶させたいときに便利です。

- 1 記憶させたい放送局を受信する。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲▼ボタンを押して「ラジオ局手動登録」を選び、決定ボタンを押す。

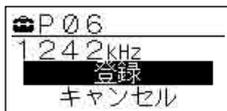


- 5 ▲▼ボタンを押して登録したい番号を選び、決定ボタンを押す。

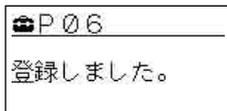


FM受信時はP01～P20、AM受信時はP01～P10から番号を選べます。

- 6 ▲ボタンを押して「登録」を選び、決定ボタンを押す。



「登録しました。」と表示されます。



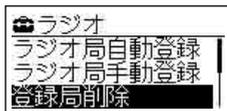
ご注意

自動時刻補正機能(63ページ)を使用する場合は、AMの登録局番号P01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。

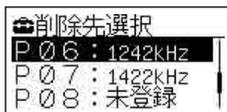
登録局削除

登録局番号に登録されている放送局を削除します。

- 1 ラジオFM/AMボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲▼ボタンを押して「登録局削除」を選び、決定ボタンを押す。

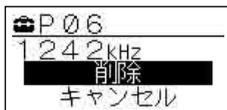


- 5 ▲▼ボタンを押して削除したい番号を選び、決定ボタンを押す。

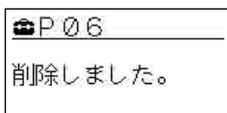


すべての登録局を削除する場合は、「全削除」を選びます。

- 6 ▲ボタンを押して「削除」(または「全削除」)を選び、決定ボタンを押す。



「削除しました。」と表示されます。



- 7 メニューボタンを押して終了する。

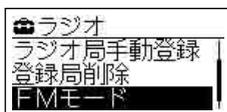
地域設定

- 1 メニューボタンを押す。
- 2 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「地域設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 お使いの地方と地域を設定する。
地方と地域の設定については、「準備4:初期設定(地域設定)をする」(11ページ)をご覧ください。

FMモード

本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMの放送は常にモノラルになります。

- 1 ラジオFM/AMボタンを押してラジオを受信する。
- 2 メニューボタンを押す。
- 3 ▲▼ボタンを押して「ラジオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲▼ボタンを押して「FMモード」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 ▲▼ボタンを押してお好みの設定を選び、決定ボタンを押す。



自動ステレオ(初期設定): 音声をステレオで受信します。

常時モノラル: 音声をモノラルで受信します。

- 6 メニューボタンを押して設定を終了する。

困ったときは

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。

それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共通

電源が入らない。

- 電源コードのプラグの先端がAC IN端子の奥に当たるまでしっかりプラグを差し込む。
- 時計用電池のみでは、本機は動作しません。電源コードを接続してお使いください(10ページ)。

音が出ない。

- 音量を調節する。
- スピーカーで聞くとときは、ヘッドホンをヘッドホン(🎧)端子から抜く。
- 現在選択されているファンクションを、表示窓のテキスト情報表示部(83ページ)のいちばん上で行で確認する。
 - ➔ 聞きたい音源のファンクションになっていない場合は、CDボタン、メモリーカードボタン、ラジオFM/AMボタン、テープ(マイク)ボタンからファンクションを選択して押す。

本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする。

- 電源の状況により本体から「ブーン」と小さいノイズ音がする場合がありますが、故障ではありません。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。
 - ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。

CD

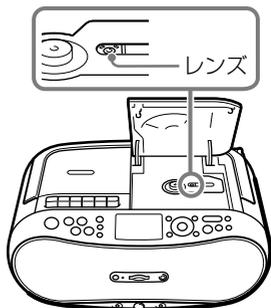
再生が始まらない。

- CDぶたが閉まっていることを確認する。
- CDに傷やひび割れがないか確認してください。傷やひび割れがある場合には、別のCDを使用してください。CDの傷やひび割れについて詳しくは、「CDの取り扱いとお手入れについて」(19ページ)をご覧ください。



CDが入っているのに「ディスクが読めません。」が表示される。

- CDが裏返し。
 - ➔ 印刷面を上にする。
- CDの汚れがひどい。
 - ➔ 「CDの取り扱いとお手入れについて」をご覧ください(19ページ)。
- レンズに露(水滴)がついている。
 - ➔ CDを取り出して電源を切り、CDぶたを開けたまま1時間くらい置く。



- CD-R/CD-RWに再生可能なファイル(曲)が記録されていない。
 - ➔ 対応するフォーマットを確認する(80ページ)。

- パソコンやCDレコーダーで作成されたCD-R/CD-RWディスクを本機で再生する場合は、ディスクのファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)が必要です。ファイナライズ処理されていないディスクは本機では再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります(77ページ)。

音が飛ぶ。

雑音が入る。

- CDによっては音が飛ぶことがあります。
 - ➔ 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい。
 - ➔ 「CDの取り扱いとお手入れについて」をご覧ください(19ページ)。
- CDに傷がある(19ページ)。
 - ➔ 他のCDの再生をお試ください。
- 振動のない場所に置く。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだら雑音が入ることがあります。
- 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります(73ページ)。

音が割れる、ひずむ。

- 音量が大きすぎる。
 - ➔ 音量を上げたときに音が割れたり、ひずむことがあります。そのような場合は、音量を下げて適度な音量で聞いてください。
 - ➔ CDにより録音されている音量に差があります。大きな音で録音されているCDは、音量を上げたときに音が割れたり、ひずむことがあります。そのような場合は、音量を下げて適度な音量で聞いてください。

CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。

- 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

CDの読み込み時に「キュルキュル」と音がする。

- 読み込み時の動作音です。故障ではありません。

メモリーカード

メモリーカードが正常に動作しない。

- メモリーカードが本機に認識されない。
 - ➔ メモリーカードを取り出し、入れ直す。
- お使いのメモリーカードが対応しているか確認する(77ページ)。
 - 非対応のメモリーカードを使うと、次のような問題が発生するおそれがあります。
 - ファイル名(曲名)やフォルダ名(アルバム名)が表示されない。
 - 再生が始まらない。
 - 音飛びする。
 - ノイズが混じる。
 - 音がひずむ。

録音できない。

- メモリーカードが書き込み禁止となっている。
 - ➔ メモリーカード上のスイッチを解除方向へスライドさせる(79ページ)。
- メモリーカードの空き容量がない。
 - ➔ 不要なデータを削除する。
 - ➔ 新しいメモリーカードを使用する。

ノイズ・音飛びが発生する。

音がひずむ。

- メモリーカードが本機にしっかり挿入されているか確認する。
 - 本機の電源を入れ直し、メモリーカードを入れ直す。
- 録音データそのものにノイズやひずみの原因が混入している可能性があります。ノイズは、エンコードの過程で混入する場合があります。このようなときは、データを新たに作り直してください。
- 音量が大きすぎる。
 - ➔ 音量を調節する。

録音停止の操作後に、アクセラランプが点滅している。

- データの書き込みが完全に終了していないため、点滅が終わるまで待つ。

メモリーカードのファイル(曲)を再生できない。

- 本機が対応するファイルシステム*でフォーマットされていない。
- ファイル名の拡張子が間違っているか、付いていない。
→ 対応する拡張子が付いているか確認する(80ページ)。
- オーディオファイルのフォーマットが適切でない。
→ 対応するフォーマットを確認する(80ページ)。
- WMAファイルが、WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されている。本機は、これらの形式に対応していません。
- 著作権保護付きのAACファイル、AAC Lossless形式のAACファイルは本機では再生できません。
- 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。
- 本機が認識可能な最大階層(フォルダレベル)を超えている(8階層まで認識可能)。
- メモリーカードに記録されているフォルダ数が255を超えている。
- フォルダあたりのファイル数が999を超えている。
- ファイル総数が5,000を超えている。
- パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。

* 本機が対応するファイルシステムは、「FAT16」と「FAT32」のみです。メモリーカードによっては、ほかのFAT形式でフォーマットされている場合があります。その場合には、パソコンを使って「FAT16」または「FAT32」形式にフォーマットし直す必要があります。詳しくは、メモリーカードに付属の取扱説明書で確認するか、メモリーカードのお買い上げ店、またはメーカーにご相談ください。

ラジオ

ラジオが受信できない。

- 正しい地域を選んでいない。
→ 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する(67ページ)。
- 置き場所を変えてみる(28ページ)。
- アンテナの向きを変えてみる(28ページ)。

AMラジオが受信できない。

- 内部/外部 AMアンテナ切換スイッチが「外部」になっている。
→ AMループアンテナをつないでいない場合は、AMアンテナ切換スイッチを「内部」にする。

FMラジオが受信できない。

- FMアンテナが引き出されていない。FMアンテナを伸ばし、向きや角度を調整してください(28ページ)。

ラジオ受信中、音が小さい、または音質がよくない。

- 建物の中では電波が弱いので、なるべく窓際でお聞きください(28ページ)。
- 家電製品や携帯電話の近くから離す(29ページ)。

FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。

- 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離す。

聞きたい放送局が受信できない。

- 正しい登録局番号を選んでいない。
→ 正しい放送局の登録局番号を選ぶ。
- 正しい地域を選んでいない。
→ 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定する(67ページ)。

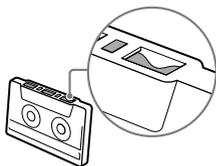
録音した音声に雑音が入る。

- 録音中に、本機をこすってしまうなど、雑音が生じた。
- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入る場合があります。

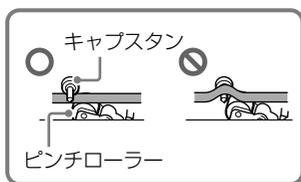
テープ

操作ボタンを押してもテープが動かない、再生速度がおかしい。

- 図のようにテープがたるんだ状態のままのカセットを入れたことにより、テープが正常な位置を通っていない可能性があります。



一度カセットを取り出して、テープのたるみをとってから入れ直してください。



テープがキャプスタンとピンチローラーの間を正常に通っていないと、「テープが動かない」、「再生速度がおかしい」といった現象が起きます。故障の原因にもなりますので、テープを入れるときはあらかじめテープのたるみがないか確認し、たるんでいる場合には、必ずたるみを取ってから入れてください。

操作のボタンを押してもテープが動かない。

- カセットぶたをきちんと閉める。

録音ができない。

- カセットを正しく入れる。
- カセットデッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ(49ページ)。

雑音が多い。音質がよくない。

- 再生／録音ヘッドが汚れている。
→ クリーニングする(34ページ)。

音がひずむ。

- TYPE II(ハイポジション)、TYPE III(フェリクロム)またはTYPE IV(メタル)テープを使っている。
→ TYPE I(ノーマル)テープを使う。

古いテープが再生できない。

- 再生／録音ヘッドが汚れている。
→ クリーニングする(34ページ)。
- テープにカビや汚れが付着している。
→ カビや汚れが付着したテープはお使いにならないでください。ヘッドの汚れがひどくなり、再生できなくなったり、故障の原因となります。
- テープが劣化している。
→ 劣化したテープはお使いにならないでください。テープの磁性体がはがれてヘッドに付着し、再生できなくなったり、故障の原因となります。
→ ヘッドクリーニングをする(34ページ)。

録音ができない。

- カセットの上下、面を正しく入れる(50ページ)。
- カセットデッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ(49ページ)。

前の録音を上書き消去しても完全に消えない。

- 消去ヘッドをクリーニングする(35ページ)。
- TYPE II(ハイポジション)、TYPE III(フェリクロム)またはTYPE IV(メタル)テープを使っている。
→ TYPE I(ノーマル)テープを使う。

タイマー機能

アラームが働かない。

- 時計を正しい時刻に合わせる(62ページ)。
- 電源コードで使用中、停電があった。
- (●)が表示されていることを確認する。
- 再生できないファイルを音源に指定した。

予約録音が作動しない。

- 時計を正しい時刻に合わせる(62ページ)。
- 予約録音の開始時刻に電源が入っていないときは、録音中の表示画面にはなりません。録音は行われています。

リモコン

リモコンの操作ができない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除く。
- 本体に近づいて操作する。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。
- リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換する(9ページ)。
- リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)を当てない。
- リモコンでテープの操作はできません。テープの操作は本体のボタンで行ってください。

上記以外の症状で正常に動作しないときは、電源コードを抜き、時計用電池を入れ直してから、電源コードを差し込んでください(10ページ)。症状が改善する場合があります。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

サポートページのご案内

ラジオ／CDラジオ・ラジカセサポートのホームページでは、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

URL:

<https://www.sony.jp/support/radio/>



携帯電話やスマートフォンなどの二次元コード読み取り機能をご利用ください。

使用上のご注意

設置時のご注意

- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のスピーカーのそばに置かないでください。磁気に変化して不具合が起きることがあります。
 - ー 時計
 - ー クレジットカードなどの磁気カード
 - ー カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープまた、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- 本機は防水仕様ではありません。特にキッチンなどの水場や、雨や雪、湿度の多い場所で使用するときは、水がかからないようご注意ください。
- 本機の上に重いものを置かないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがあります。
- 火のそばや直射日光のあたる場所・炎天下の車中・照明器具の下など、高温の場所で使用・保管・放置しないでください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- CDぶたまたはカセットぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- メモリーカードスロットには、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着ていただくことにより、軽減されます。
- 本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります(結露)。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。
- テープを長い間使わなかったときは、数分間再生してならしてからお使いください。よい状態でお使いいただけます。

本機のお手入れのしかた

- 本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- CD-R/CD-RWについて
本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

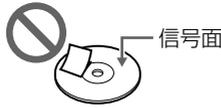


* CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

- 本機はCD再生専用です。CD-R/CD-RWに録音はできません。
- 再生可能なCDについて
本機では以下のCDが再生できます。
 - ー 音楽用CD(CD-DA)
 - ー CD-DA/MP3/WMA(CD-R/CD-RW)
- 著作権保護機能付き音楽ディスクについて
本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。
- DualDiscについて
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

CDの取り扱いかた

- 印刷面を上にして持ちます。
- 信号面に紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。



CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

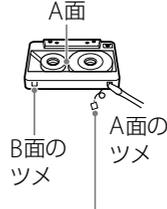
メモリーカードの取り扱いかた

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらしたりしないでください。
- 以下のような場所での使用や保管はしないでください。
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中/直射日光のあたる場所/熱器具の近く
 - 湿気が多い場所や腐食性のある場所
- メモリーカードにケースが付属している場合、メモリーカードを携帯するときや保管するときは、付属のケースに入れてください。
- メモリーカードの端子部に手や金属で触れないでください。
- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。

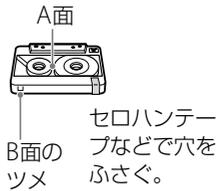
テープの大切な録音を守るために

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

録音できないようにするとき



再び録音するとき



折ったツメは、必ず廃棄してください。誤って本体内部に入ると故障の原因になります。

長時間テープをお使いのときは

90分を超えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こざざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返すと、テープがカセットデッキ内部で巻き込まれる場合があります。長時間テープを繰り返し使用するときは、テープの状態に注意し、伸びていたら新しいテープをお使いください。

エンドレスカセットテープについて

エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。テープがカセットデッキ内部で巻き込まれる場合があります。

劣化していないテープ、汚れのないテープをお使いください

劣化したテープや汚れやカビが付着したテープはお使いにならないでください。ヘッドの汚れがひどくなると、音が小さい、途切れる、音が出ないなどの症状が出て、きれいな音で録音や再生ができなくなり、故障の原因となります。

再生／録音ヘッド、消去ヘッドの汚れについて

ヘッドの汚れについては、「再生／録音ヘッドの清掃のしかた」(34ページ)、「消去ヘッドの清掃のしかた」(35ページ)をご覧ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz ~ 20,000 Hz +1/-2 dB

ラジオ部

受信周波数	FM: 76.0 MHz ~ 108.0 MHz AM: 531 kHz ~ 1,710 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ (内蔵) ループアンテナ(付属)

メモリーカード部

対応ビットレート	MP3(MPEG-1 AUDIO Layer-3) 32 kbps ~ 320 kbps, VBR WMA 5 kbps ~ 384 kbps, VBR AAC (MPEG-4 AAC-LC) 16 kbps ~ 320 kbps, VBR
サンプリング周波数	MP3(MPEG-1 AUDIO Layer-3) 32/44.1/48 kHz WMA 8/11.025/16/22.05/32/ 44.1/48 kHz AAC (MPEG-4 AAC-LC) 8/11.025/12/16/22.05/24/ 32/44.1/48 kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル
早巻き時間	約2.5分以下(60分テープ片面)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット 80 Hz ~ 10,000 Hz (JEITA*)

共通部

スピーカー	フルレンジ: 8 cm、 コーン型6 Ω、2個
入力端子	マイク(ミニジャック)1個 最小入力レベル 2.45 mV ローインピーダンスマイク用 (入カインピーダンス 10 kΩ) メモリーカードスロット
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニ ジャック)1個 負荷インピーダンス 16 Ω ~ 68 Ω
実用最大出力 電源	1.7 W + 1.7 W (JEITA*/6 Ω) 本体用: 家庭用電源 (AC100 V 50/60 Hz) 時計用: 単3形乾電池3本使用 (DC 4.5 V) (別売)
消費電力	13 W 約0.9 W(電源オフ時)
最大外形寸法	約366 mm × 146 mm × 238 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む)
質量(本体)	約3.0 kg(乾電池除く) 約3.1 kg(乾電池含む)
付属品	リモコン(1) 電源コード(1) AMループアンテナ(1) 取扱説明書・保証書(1) かんたんスタートガイド(1) 周波数一覧表(1) ヘッドクリーニングキット (1)

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、この取扱説明書の全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されています。
- あなたが録音したものに著作物となるデータが含まれている場合、個人として楽しむなど私的使用の目的の他は、著作権法上、権利者に無断で使用することができません。著作権で守られたデータを録音したメモリーカード、データCD、カセットテープなどは、著作権法で規定された範囲内で使用してください。

商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- SD、SDHC、microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。
- メモリースティック、メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック PRO-HG デュオ、メモリースティック マイクロ、M2、メモリースティック XC-HG デュオおよび  は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。M2はメモリースティック マイクロの略称です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- Windows Media is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/ or other countries.

- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、企業名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

再生できるディスクについて

ディスクを再生するときは、ディスクの種類を確認し、本機が対応するディスクをご利用ください。

ディスクの種類	曲／ファイルのフォーマット	対応
CD、 CD-R/CD-RW*1*3	CD-DA*2	可
CD-R/CD-RW*1*3	MP3	可
	WMA	可
	AAC	不可
SA-CD(スーパーオーディオCD)	CD層	可
	SA-CD層	不可
DVD		不可
BD(ブルーレイディスク)		不可

*1 音楽CD(CD-DAフォーマット)の規格に準拠していない形式で記録されたCD-R/CD-RW、ISO9660Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-R/CD-RWは再生できません。

*2 CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般の音楽CDに使用されている、音楽収録用の規格です。

*3 ファイナライズ処理が必要です。

ご注意

- 本機では円形のCDのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたCDを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- 8 cm CDは、周囲の環境や使用状況により再生できない場合があります。
- 本機はCD再生専用です。CD-R/CD-RWに録音はできません。
- CD-R/CD-RWの再生では、お使いになったディスクの品質や記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。



メモリーカードの使用について

本書では、下記のSDカードおよびメモリースティックを総称して「メモリーカード」と呼んでいます。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは次のとおりです。

メーカー	種類	対応
ソニー 東芝 Panasonic SanDisk	SD*1	○
	SDHC*2	○
	SDXC	×
	microSD*3	○
	microSDHC*3	○
ソニー SanDisk	メモリースティック デュオ*4	○
	メモリースティック PRO デュオ*4 *5	○
	メモリースティック PRO-HG デュオ*4 *5	○
	メモリースティック マイクロ*6	○
	メモリースティック XC- HG デュオ	×

○:対応しています。

×:対応していません。

*1 2GBまでのSDカードでのみ動作確認を行っています。

*2 32GBまでのSDHCカードでのみ動作確認を行っています。なおSDHCカードは、Class4以上の製品のご使用をおすすめします。

*3 SDカードアダプター(別売)に入れてから使用してください。

*4 32GBまでのメモリースティック デュオでのみ動作確認を行っています。

*5 本機には、メモリースティック デュオスロットが搭載されています。標準サイズのメモリースティックは使用できません。

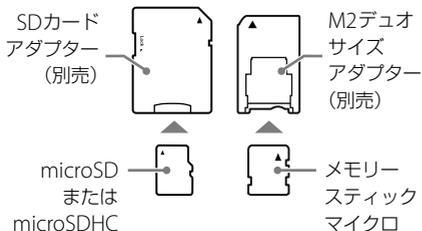
*6 M2デュオサイズアダプター(別売)に入れてから使用してください。

ご注意

- すべてのメモリーカードの接続と動作を保証するものではありません。
- マルチメディアカードは使用できません。

microSDまたはmicroSDHC、およびメモリースティックマイクロを使うときは

下図のとおり、それぞれ専用のアダプターに入れてから使用してください。



ご注意

アダプターが装着されていない状態でメモリーカードスロットに挿入すると、取り出せなくなる場合があります。

録音可能時間の目安

録音フォーマットがMP3、ビットレートが128kbps(固定)の場合、メモリーカードへの録音可能時間は、次のとおりです。

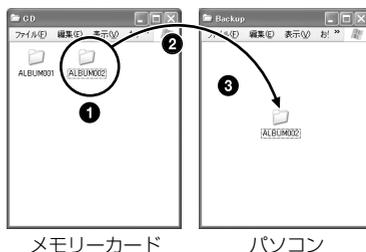
容量	録音可能時間
2GB	約33時間
4GB	約66時間
8GB	約132時間
16GB	約264時間
32GB	約528時間

メモリーカードのフォルダ数・ファイル数を調べるには

「メモリーカード情報」(64ページ)をご覧ください。

メモリーカードのデータをパソコンにコピーするには(バックアップ)

- 1 メモリーカードをパソコンに接続する。**
パソコンのメモリーカードスロットに直接挿入するか、市販のメモリーカードリーダーなどを使用してパソコンに接続してください。
- 2 メモリーカードが正しく接続されているか確認する。**
Windowsの場合:
「コンピューター」(または「マイコンピューター」)を開き、メモリーカードが認識されているかを確認してください。
Mac OSの場合:
Finderにメモリーカードのドライブが表示されているかを確認してください。
- 3 メモリーカードのデータをパソコンにコピーする。**
コピーしたいフォルダやファイルをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。



メモリーカード

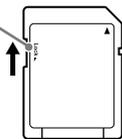
パソコン

- 1** コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
 - 2** 保存先まで移動(ドラッグ)して、
 - 3** はなす(ドロップ)
- 4 メモリーカードをパソコンから取り出す。**
パソコンから取り出す方法について詳しくは、お使いのメモリーカードリーダーまたはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードを本機のメモリーカードスロットに挿入するときは、正しい向きで挿入してください。
- メモリーカードを挿入するときは、無理に押し込まないでください。無理に押し込むと、メモリーカードが破損したり、本機が故障するおそれがあります。
- メモリーカード上の大切なデータはバックアップすることをおすすめします。
- メモリーカードによっては、「読み込み中」のメッセージが表示されるまで、しばらく時間がかかることがあります。
- 本機はメモリーカードの8ビットパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのSDカード、誤消去防止、書き込み禁止のSDカードへは、録音できません。SDカードの書き込み禁止は、SDカード上のスイッチを矢印方向へスライドさせることで解除することができます。

書き込み禁止
スイッチ



- 以下の場合、データが破損するおそれがあります。
 - 録音/再生中にメモリーカードを取り出した場合
 - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 当社は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したファイルが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れる、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

- メモリーカード上のフォルダ数、ファイル数が以下のケースに該当する場合は、本機では再生できません。本機またはパソコンなどを使って不要なフォルダやファイルを削除してください。また、不要なフォルダやファイルは保存しないでください。
 - フォルダ数が255を超えた場合。
 - フォルダあたりのファイル数が999を超えた場合。
 - ファイル総数が5,000を超えた場合。上記の上限は、メモリーカードのファイル構造の状態によっても異なります。
- データの書き込み速度が遅いメモリーカードを使用すると、ラジオの録音などが途中で止まってしまう場合があります。

再生できるファイルについて

ファイルフォーマットについて

本機が対応するオーディオファイルのフォーマットは、次のとおりです。

- **MP3(MPEG-1 AUDIO Layer-3)**
拡張子:.mp3
サンプリング周波数:32/44.1/48 kHz
ビットレート:32 kbps – 320 kbps, VBR
- **WMA**
拡張子:.wma
サンプリング周波数:
8/11.025/16/22.05/32/44.1/48 kHz
ビットレート:5 kbps – 384 kbps, VBR
- **AAC(MPEG-4 AAC-LC)**
(メモリーカードのみ対応)
拡張子:.m4a/.mp4/.3gp
サンプリング周波数:8/11.025/12/16/
22.05/24/32/44.1/48 kHz
ビットレート:16 kbps – 320 kbps, VBR

ご注意

- 本機が対応するメモリーカードのファイルシステムは「FAT16」と「FAT32」のみです。ほかのFAT形式でフォーマットされたメモリーカードは再生できません。
- WMA DRM/WMA Lossless/WMA PRO形式で作成されているWMAファイルは、本機では再生できません。
- 著作権保護付きのAACファイル、AAC Lossless形式のAACファイルは本機では再生できません。
- 音声以外を含むAACファイル、複数の音声トラックを含むAACファイルは本機では再生できません。
- パスワードでプロテクトされたファイル、暗号化によって保護されたファイルは再生できません。
- 上記に該当する拡張子をファイル名が持っている場合、フォーマットが異なっている場合は、本機では再生できない、または再生するときに不具合が生じる場合があります。

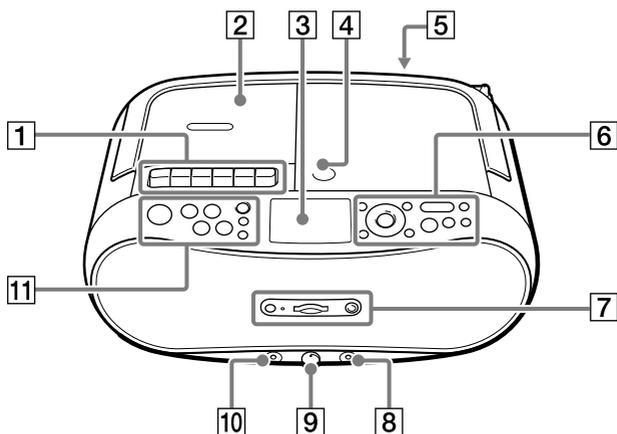
フォルダ数・ファイル数の上限について

本機が再生対象として認識できるフォルダ数とファイル数は、次のとおりです。

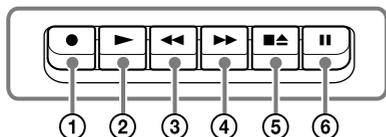
- データCD(MP3/WMA)の場合
最大フォルダ数:255
最大ファイル数:999
- メモリーカード(SDカード/メモリースティック共通)の場合
最大フォルダ数:255
最大ファイル数:5,000
フォルダあたりの最大ファイル数:999

各部のなまえ

本体



1 テープ操作部



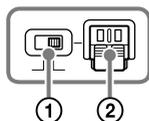
- ① ●録音ボタン
- ② ▶再生ボタン*
- ③ ◀◀巻戻しボタン
- ④ ▶▶早送りボタン
- ⑤ ■▲停止/開ボタン
- ⑥ ||一時停止ボタン

2 カセットぶた(閉じる)

3 表示窓

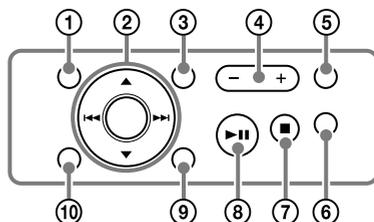
4 CDぶた(開/閉▲)

5 AMアンテナ切換部



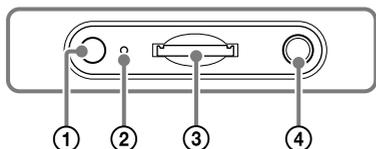
- ① 内部/外部 AMアンテナ切換スイッチ
- ② AMループアンテナ接続端子

6 操作パネル(右部分)



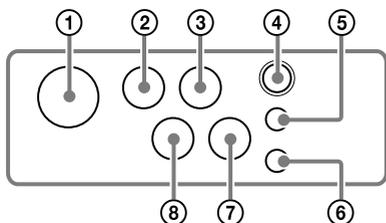
- ① 表示ボタン
- ② メニュー操作ボタン
登録局選択-・曲戻し・早戻し
◀◀ボタン
登録局選択+・曲送り・早送り
▶▶ボタン
☐/選局+・▲ボタン
☐/選局-・▼ボタン
決定ボタン
- ③ 削除ボタン
- ④ 音量+*/-/ボタン
- ⑤ モードボタン
- ⑥ リピートボタン
- ⑦ ■(停止)ボタン
- ⑧ ▶|| (再生/一時停止)ボタン*
- ⑨ メニューボタン
- ⑩ 戻るボタン

7 メモリーカード操作部ほか



- ① リモコン受光部
- ② アクセスランプ
- ③ メモリーカードスロット
- ④ 録音ボタン

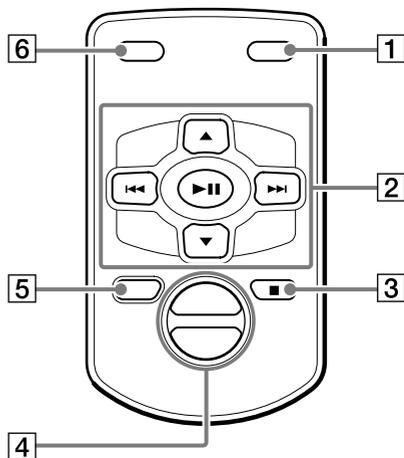
- 8 ♯(ヘッドホン)端子
- 9 マイク音量つまみ
- 10 マイク端子
- 11 操作パネル(左部分)



- ① 電源ボタン
- ② CDボタン
- ③ メモリーカードボタン
- ④ 予約ボタン
- ⑤ 日時ボタン
- ⑥ おやすみタイマーボタン
- ⑦ テープ(マイク)ボタン
- ⑧ ラジオFM/AMボタン

* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

リモコン



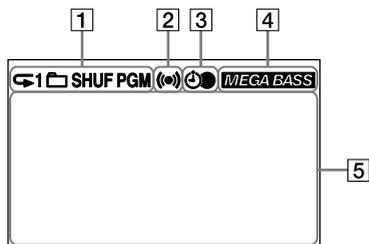
- ① 電源ボタン
- ② 登録局選択-・曲戻し・早戻し◀◀ボタン
登録局選択+・曲送り・早送り▶▶ボタン
□/選局+・▲ボタン
□/選局-・▼ボタン
▶▶(再生/一時停止)ボタン*
- ③ ■(停止)ボタン
- ④ 音量+*/-ボタン
- ⑤ MEGA BASSボタン
- ⑥ ファンクションボタン

ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。



* 凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓



- 1 再生方法表示
現在選択されている再生方法を表すアイコンが表示されます。
- 2 (●)(アラーム)表示
- 3 (●)(録音予約)表示
- 4 **MEGA BASS**(MEGA BASS)表示
- 5 テキスト情報表示
曲名やアルバム名、ファンクション名などのテキスト情報や、進捗を表すプログレスバーなどを表示します。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になったり、サポートページ(「サポートページのご案内」(72ページ)参照)の情報も参考にしてお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

◆パソコン・スマートフォンから

<https://www.sony.co.jp/radio-regi/>



◀二次元コードでスマートフォンからアクセス

製品のご登録についてのお問い合わせ

ソニーマーケティング(株)
My Sony Club お客様窓口
電話:フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話:050-3754-9639

型名:CFD-RS501

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル..... 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話... 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「304」+「#」

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

索引

ア行

- 頭出し
 - CD 16
 - メモリーカード 21
- アラーム 37、48
- アンテナ 28
- お手入れ
 - CD 19
 - 再生／録音ヘッド 34
 - 消去ヘッド 35
 - 本体 73
- おやすみタイマー 36

カ行

- 拡声器 60
- 画面
 - 明るさを調節する 62
 - コントラストを調節する 64
 - 再生画面 15
- カラオケ
 - カラオケをする 57
 - 録音する 58
- クリーニング
 - CD 19
 - 再生／録音ヘッド 34
 - 消去ヘッド 35
- 繰り返し聞く 23

サ行

- 再生する
 - CD 14
 - いろいろな再生方法 23
 - テープ 32
 - フォルダ 24
 - メモリーカード 20
- 削除する
 - 全削除(メモリーカード) 65
 - テープの曲 53
 - 登録局(ラジオ) 66
 - プログラム 26
 - メモリーカードの曲 53、65
 - 録音予約 47
- 自動時刻補正 63
- シャッフル再生 24

- 接続する
 - 電源コード 10
 - マイク 57
- 設定する
 - アラーム 37
 - おやすみタイマー 36
 - 地域設定 11
 - 時計 12
 - メニュー設定 61
 - 録音予約 45

タ行

- タイマー
 - アラーム 37
 - おやすみタイマー 36
- 地域設定 11、67
- データCD 15、17
- テープ
 - 上書き消去 53
 - 使用できるテープ 32
- 電源
 - 接続する 10
 - 電源を入れる・切る 12
- 電池
 - 時計用 10
 - リモコン用 9
- 登録局(ラジオ)
 - 削除する 66
 - 選択する 27
- 時計
 - 自動時刻補正 63
 - 設定する 12、62
- 時計用電池
 - 電池残量を調べる 63
 - 電池を入れる 10

ナ行

- 日時を表示する 13

ハ行

- 早送り・早戻し
 - CD 16
 - テープ 33
 - メモリーカード 21
- 表示窓
 - 明るさを調節する 62
 - 各表示の説明 83
 - 曲情報を表示する 16、21
 - コントラストを調節する 64
- ファイル 17、18、22、40、54、80
- フォルダ 17、18、22、40、54、80
- フォルダ再生 24
- プラグインパワー方式 57
- プログラム再生 25
- ヘッドクリーニング 34、35
- ヘッドホン端子 82
- 本体各部のなまえと働き 81

マ行

- マイク音量 57
- マイクを使う
 - 拡声器として使う 60
 - カラオケをする 57
 - 録音する 58
- メニュー設定 61
- メモリーカード
 - 曲を削除する 53、65
 - 使用できるメモリーカード 77
 - フォルダ数・ファイル数を表示する 64
 - 録音可能時間 43、64、78
- メモリースティック 20、40、54、77

ヤ行

- 予約録音 45

ラ行

- ラジオ
 - アンテナを調節する 28
 - 聞く 27、30
 - 地域設定 11、67
 - 放送局を登録する 31、66
- リピート再生 23
- リモコン
 - 電池 9
 - ボタン名と働き 82
- 録音する
 - CD 41、50
 - カラオケ 58
 - 誤消去防止 79
 - テープ 44、49
 - メモリーカード 40、51
 - 予約録音 45
 - ラジオ 43、45、52

A-Z

- AMループアンテナ 28
- CD
 - お手入れ 19
 - 再生できるディスク 77
 - データCD 15、17
- FMモード 67
- MEGA BASS 62
- MP3 17、40、80
- SDカード 20、40、54、77
- WMA 17、40、80

保証書

持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム		
型名	CFD-RS501		
お買上げ日	年	月	日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<https://www.sony.jp/support/>

ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	- - 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1) 本書のご提示がない場合(2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4) 使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T02-5

← ソニーの相談窓口については、84ページをご覧ください。

©2015 Sony Corporation
Printed in China



* 4 5 7 3 9 8 8 0 4 * (1)